

## 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成22(2010)年

順天堂大学医史学研究室編

- |                   |                  |                            |
|-------------------|------------------|----------------------------|
| 01 単行本            | 24 耳鼻咽喉科史        | 47 病院史                     |
| 02 医学切手・書画        | 25 種痘史           | 48 病跡学                     |
| 03 医学教育           | 26 獣医学史          | 49 病理学史                    |
| 04 医学用語           | 27 書簡            | 50 風俗史                     |
| 05 医師会・学会         | 28 書誌学           | 51 仏教医学史                   |
| 06 医史学一般          | 29 小児科史          | 52 法医学史                    |
| 07 医の倫理           | 30 神経学史          | 53 放射線医学史                  |
| 08 医療器械           | 31 診断学史          | 54 本草学史・博物学史               |
| 09 医療制度史・医療史      | 32 整形外科史         | 55 麻酔学史                    |
| 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史 | 33 精神医学史         | 56 門人録                     |
| 11 解剖学史           | 34 生物学史          | 57 薬学史                     |
| 12 眼科史            | 35 西洋医学史         | 58 蘭学史                     |
| 13 看護史            | 36 生化学史          | 59 リハビリテーション関係史            |
| 14 寄生虫学史          | 37 生理学史          | 60 検査                      |
| 15 教室・大学史         | 38 地方史           | 61 その他                     |
| 16 軍陣医学史          | 39 治療史           | 62 中国語文献                   |
| 17 形成外科学史         | 40 伝記            | 63 韓国語文献                   |
| 18 外科史            | 41 伝記(双)         | 64 欧文文献                    |
| 19 細菌学史           | 42 伝染病史・防疫史・感染症史 | 今回は17, 30, 36, 37, 51, 52, |
| 20 産婦人科史          | 43 東洋医学史・伝統医学史   | 56, 58, 63にあたる文献はありません。    |
| 21 歯学史            | 44 内科史           |                            |
| 22 史跡・記念碑         | 45 皮膚科史          |                            |
| 23 疾病史            | 46 泌尿器科史         |                            |

### 01 単行本

青木歳幸・野口朋隆『『小城藩日記』にみる近世佐賀医学・洋学史料〈後編〉』佐賀大学地域学歴史文化研究センター  
麻布大学(編)『獣医資料館寄贈選定図書目録』麻布大学付属情報センター  
大分県立先哲史料館『大分県先哲叢書 前野良沢資料集第三巻』大分県教育委員会  
大阪大学医学伝習百年史刊行会編『大阪大学医学伝習百年史』大阪大学医学伝習百年史刊行会

大城孟『解体新書の謎』ライフ・サイエンス

小川浩司『近代医学を切り拓いた人びと 上・下巻』東京医学社

小野蘭山没後二百年記念誌編集委員会『小野蘭山』八坂書房

国立ハンセン病資料館『着物にみる療養所のくらし』(財)日本科学技術振興財団

阪上正信『蘭学者 川本幸民の「化学新書」解説・実験の手引き』三田市郷土先哲顕彰会

鈴木七美, 藤原久仁子, 岩佐光広『高齢者のウエ

- ルビーイングとライフデザインの協働』お茶の水書房
- 田口喜久恵『近代教育黎明期における健康教育の研究』風間書房
- 武田科学振興財団杏雨書屋編集『杏雨書屋蔵 葉種抄一』武田振興財団
- 適塾記念会緒方洪庵全集編集委員会編集『緒方洪庵全集第一, 二巻 扶氏経験遺訓上・下』大阪大学出版会
- 中津市教育委員会『中津市歴史民俗資料館 分館 医家史料館叢書九 『人物と交流Ⅱ』 ミヒェル・ヴォルフガング, 吉田洋一, 大島明秀共編』中津市歴史民俗資料館
- 中村光夫『『茨城の疱瘡神』別冊一調査日記 茨城の疱瘡神を訪ねて』
- 中村光夫『茨城の疱瘡神』
- 七木田文彦『健康教育教科「保健科」成立の政策形成』学術出版会
- 日本神経学会『日本神経学会50年のあゆみ』出版文化社
- 松木明知『『弘前藩医 桐山正哲の生涯と業績』—顕彰碑建立を記念して—』
- ミュリエル・ラアリー著, 濱中淑彦監訳『中世の狂気 十一～十三世紀』人文書院
- 村上陽一郎編『日本の科学者101』新書館
- 本平孝志, 内藤達郎, 安藤嘉明『歯科の歴史への招待—歴史遺産と史料を求めての旅—』クインテッセンス出版
- 02 医学切手・書画**
- 「医師コナン・ドイル」金山知新『STETHOSCOPE』(198) 3-7
- 「切手で医学散歩 <586>-<633> 卵巣摘出手術 200年他」金山知新『Mmedical Tribune』43 (1-52)
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (1) 竹田昌慶 (1338-1380) 留学先の明でも活躍した, 南北朝の時代の名医」酒井シヅ『医道の日本』69 (1) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (2) 田代三喜 (1465-1537) 曲直瀬道三が師と仰ぐ, 関東一の名医」酒井シヅ『医道の日本』69 (2) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (3) 安藝守定 (生没年不詳) 日本の産婦人科の祖」酒井シヅ『医道の日本』69 (3) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (4) 清眼僧都 (生年不詳-1379) 馬島流眼科の開祖・日本最古の眼科専門医」酒井シヅ『医道の日本』69 (4) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (5) 後藤良山 (1659-1733) 江戸中期にかけて起こった実践的な医学・古方派の祖」酒井シヅ『医道の日本』69 (5) 112-113
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (6) 山脇東洋 (1705-1762) 古方派医学を確立した, 江戸中期の名医」酒井シヅ『医道の日本』69 (6) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (7) 吉雄耕牛 (1724-1800) 吉雄流紅毛外科を創始した, 語学の天才」酒井シヅ『医道の日本』69 (7) 12-13
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (8) 華岡青洲 (1760-1835) 全身麻酔法を考案した最初の外科医」酒井シヅ『医道の日本』69 (8) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (9) 前野良澤 (1723-1803) 『解体新書』など翻訳で医学の発展に貢献した蘭学者」酒井シヅ『医道の日本』69 (9) 12-13
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (10) 梶原性全 (1266-1337) 『頓医抄』『万安方』を著した, 鎌倉時代の僧医」酒井シヅ『医道の日本』69 (10) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (11) 丹波康頼 (912-995) 日本最古の医学書『医心方』を著した, 平安中期の名医」酒井シヅ『医道の日本』69 (11) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち (12) 曲直瀬道三 (1507-1594) 『啓迪集』で知られる, 日本医学の中興の祖」酒井シヅ『医道の日本』69 (12) 12-13
- 「華岡青洲肖像画の神格化について—試論—」高

- 橋克伸『和歌山市立博物館研究紀要』(25)  
 「虎とら寅」中村實郎『STETHOSCOPE』(198) 12  
 「鯨絵とPTSD」昼田源四郎『精神医学史研究』  
 14(1) 54-55  
 「Yale大学Harvey Cushing医学図書館Fry Collection  
 に収蔵されている江戸期日本の医療版画資料に  
 ついて」渡部幹夫『医療看護研究』6(1) 11-21

### 03 医学教育

- 「ポンペ・ファン・メールデルフォールトの日本  
 における西洋医学教育についての報告(抄)」  
 相川忠臣，ハルメン・ボイケルス，酒井シヅ，  
 山之内外一『日本医史学雑誌』56(2) 249  
 「東京薬科大学の男子部・女子部の別教育にかか  
 わる歴史的経緯」井口和男『東京薬科大学研究  
 紀要』(13) 47-54  
 「医学教育UP TO DATE 医学教育の歴史と展望」  
 井内康輝『医学教育』41(5) 378-379  
 「【京都府立医科大学の看護教育開始から120年を  
 経て そのはじまりをみつめる】同志社病院・  
 京都看病婦学校ではじめられた看護教育 リン  
 ダ・リチャーズの日本での活動から」岡山寧子  
 『京都府立医科大学雑誌』119(2) 89-98  
 「近代日本における「治療教育」の系譜(1)」小  
 野尚香『医譚』(108) 6070-6071  
 「藤浪鑑における医史学教育の重要性」勝井恵子  
 『医学教育』41(Suppl.) 129  
 「Historical Development of Modern Anatomy Educa-  
 tion in Japan」Tatsuo SAKAI『日本医史学雑誌』  
 56(1) 3-23  
 「我が国の医学教育・医師資格付与制度の歴史的  
 変遷と医学校の発展過程」坂井建雄，澤井直，  
 瀧澤利行，福島統，島田和幸『医学教育』  
 41(5) 337-346  
 「福島県における医学教育 白河医術講義所の開  
 設から福島医学校の廃止まで」茂田士郎『福島  
 医学雑誌』60(1) 34-36  
 「医術開業後期試験問題と済生学舎の臨床技能教  
 育(抄)」志村俊郎，唐澤信安，殿崎正明，寺  
 本明『日本医史学雑誌』56(2) 255  
 「【京都府立医科大学の看護教育開始から120年を

- 経て そのはじまりをみつめる】京都府立医科  
 大学で始められた看護教育」滝下幸栄，岩脇陽  
 子『京都府立医科大学雑誌』119(2) 65-73  
 「医学教育革命と医療技術革新の歴史の分析」長  
 谷川敏彦，藤谷克己，秋山健一『医学教育』  
 41(Suppl.) 129  
 「【京都府立医科大学の看護教育開始から120年を  
 経て そのはじまりをみつめる】京都府立医科  
 大学における産婆教育の黎明期 明治時代の京  
 都における産婆教育の変遷を踏まえて」松岡知  
 子，岩脇陽子『京都府立医科大学雑誌』119(2)  
 75-82  
 「薬学教育改革への薬学部の取組み」望月正隆『薬  
 史学雑誌』45(1) 7-14  
 「【京都府立医科大学の看護教育開始から120年を  
 経て そのはじまりをみつめる】明治初期の看  
 護・助産教育」八木聖弥『京都府立医科大学雜  
 誌』119(2) 83-88

### 04 医学用語

- 「ディアコニッセという概念—特に初期キリスト  
 教共同体との関連において—」泉彪之助『医譚』  
 (108) 5899-5908  
 「精神科領域の用語解説 クレランボー症候群」  
 小泉明『分子精神医学』10(1) 62-65  
 「昭和初期解剖学用語の改良と国語運動」澤井直，  
 坂井建雄『日本医史学雑誌』56(1) 39-52  
 「瘰の語源について(7)-(8)」土屋涼一『胆と瘰』  
 31(1, 8) 103-109, 781-785  
 「ことばはむずかしい! 緩和ケアに関する様々な  
 用語とその概念について ホスピスケアと緩和  
 ケア 歴史からみた違いと共通点」山崎章郎  
 『日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録  
 集』15, 122

### 05 医師会・学会

- 「【日本呼吸器学会の過去と現在そして未来への展  
 望】日本呼吸器学会における閉塞性肺疾患の歴  
 史」相澤久道『日本呼吸器学会雑誌』48(特別  
 号) 86-89  
 「アジア大洋州医師会連合(CMAAO) 50年の歴

- 史と将来展望」石井正三『日本医師会雑誌』138(12) 2547-2551
- 「日本呼吸器学会の過去と現在そして未来への展望」びまん性肺炎患の研究, 診療などの過去, 現在そして未来への展望」井上義一『日本呼吸器学会雑誌』48(特別号) 107-114
- 「日本呼吸器学会の過去と現在そして未来への展望」アレルギー性呼吸器疾患の過去・現在・未来」大田健『日本呼吸器学会雑誌』48(特別号) 75
- 「日本地域看護学会の発展と課題」日本地域看護学会の歩み」金川克子『保健の科学』52(9) 580-585
- 「日本薬史学会創立から50年の歩み(抄)」川瀬清『薬史学雑誌』45(1) 1-2
- 「精神病理・精神療学会の30年 症候群・状態像の報告内容について」高橋隆夫『精神医学史研究』14(1) 54
- 「日本アーユルヴェーダ学会の歩みと具現化への道」田澤賢次『日本統合医療学会誌』3(1) 79-89
- 「日本呼吸器学会の過去と現在そして未来への展望」喘息学の50年とこれから」玉置淳『日本呼吸器学会雑誌』48(特別号) 74
- 「日本透析医学会統計調査の歴史」中井滋, 日本透析医学会統計調査委員会『日本透析医学会雑誌』43(2) 119-152
- 「学会誕生の歴史 救急医療・看護の今昔」中村恵子, 有賀徹, 島崎修次, 高橋章子, 田口吉子『日本救急看護学会雑誌』12(4) 9-20
- 「戦後の日本漢方医学界の展望—日本東洋医学会及び東亜医学協会を中心として—」原桃介『日本医史学雑誌』56(3) 437-440
- 「日本地域看護学会の発展と課題」これまでの保健師卒後教育の問題点と今後の課題」平野かよ子『保健の科学』52(9) 610-614
- 御勤め」板垣英治『北陸医史』(32) 38-46
- 「紙の寶石 EXLIBRIS26 ビルガー・コンツの蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(652) 79-81
- 「紙の寶石 EXLIBRIS27 ツンブッシュの蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(653) 69-71
- 「紙の寶石 EXLIBRIS28 フリードリヒシュタット病院皮膚科の蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(654) 61-63
- 「紙の寶石 EXLIBRIS29 オルリックの蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(655) 63-65
- 「紙の寶石 EXLIBRIS30, 31 『ドン・キホーテ』に関する蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(656-657) 63-65, 69-71
- 「紙の寶石 EXLIBRIS32 札幌中央図書館の蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(658) 63-65
- 「炎症・免疫分野とノーベル賞(第4回) 1987年生理学・医学賞 抗体の多様性に関する遺伝的原理の発見」黒澤良和『炎症と免疫』18(5) 538-543
- 「『京都医事衛生誌』に紹介された「神農講」関連史料について」小林昌代『啓迪』(28) 67-77
- 「医学史から vol.34 新型インフルエンザとスペイン風邪」酒井シヅ『すこやか健保』734, 2
- 「医学史から vol.35 振り出し薬」酒井シヅ『すこやか健保』735, 2
- 「医学史から vol.36 カタルと風邪」酒井シヅ『すこやか健保』736, 2
- 「医学史から vol.37 白内障」酒井シヅ『すこやか健保』737, 2
- 「医学史から vol.38 腹帯 妊婦帯 マタニティガードル」酒井シヅ『すこやか健保』738, 2
- 「医学史から vol.39 海馬と記憶」酒井シヅ『すこやか健保』739, 2
- 「医学史から vol.40 脳と神経, 腹と経絡」酒井シヅ『すこやか健保』740, 2
- 「医学史から vol.41 骨相学」酒井シヅ『すこやか健保』741, 2
- 「医学史こぼれ話 あたまの話」酒井シヅ『TMDC MATE (東京医師歯科医師協同組合)』(261) 18
- 「医学史こぼれ話 ヒポクラテスの話 「予後」の本質は既にヒポクラテスによって語られている

## 06 医史学一般

- 「近代日本医学史」泉義雄『薬理と臨床』20(2) 121-137
- 「成瀬正居「壮猶館御用達留」などに記るされた黒川良安, 鹿田謹斎, 高峰元程等の壮猶館での

- た」酒井シヅ『TMDC MATE（東京医師歯科医師協同組合）』（260）15
- 「文久二年の錦絵「五体和合心膂の教訓」が語る幕末の身体観」酒井シヅ『CLINICIAN』（585）4-9
- 「医療史回り舞台 胃がんに苦しんだ三菱の総帥岩崎弥太郎」篠田達明『整形・災害外科』53（1）53
- 「医療史回り舞台 兇漢に襲われた大村益次郎の右大腿切断」篠田達明『整形・災害外科』53（7）844
- 「医療史回り舞台 数奇の運命を辿った医師で作家の上田秋成」篠田達明『整形・災害外科』53（9）1086
- 「医療史回り舞台 シューマンが演奏活動を断念した手の障害」篠田達明『整形・災害外科』53（10）1181
- 「医療史回り舞台 ピアノの詩人ショパンの肺結核」篠田達明『整形・災害外科』53（11）1305
- 「医療史回り舞台 文豪トルストイの野垂れ死」篠田達明『整形・災害外科』53（13）1629
- 「資料展示会の意義：新たな情報を掘り起こす機会として」菅修一『医学史研究』（93）39-42
- 「脳死の最近の話題 慢性脳死の歴史と課題」杉本健郎『脳と発達』42（Suppl.）S131
- 「医史学四十年」寺畑喜朔『北陸医史』（32）1
- 「懐妊の身体と王権—平安貴族社会を中心に—」服藤早苗『歴史評論』（728）19-32
- 「心と栄養を包括する科学 食と健康の歴史と現在」丸井英二『心身健康科学』6（1）13-17
- 「昭和20年（1945）年，前後数年間の再検討を」水野洋『医学史研究』（93）表2

## 07 医の倫理

- 「村落共同体における医師の役割—変死隠蔽事件を事例として—」尾脇秀和『地方史研究』60（5）39-57
- 「穢観念と生命観」片岡耕平『歴史評論』（728）62-73
- 「『臨床研究に関する倫理指針』に至る歴史的経緯と新改正の要点」島田道子，関根透，前田伸子，

- 花田信弘，子島潤，小林馨，深山治久，桃井保子，佐藤淳一『鶴見歯学』36（1）35-40
- 「臨床研究の倫理的な流れ（抄）」関根透，島田道子『神奈川医学会雑誌』37（2）302-303
- 「やさしい生命倫理学講座（第4回）研究倫理はなぜ必要か 臨床研究の歴史から学ぶ」田代志門『Biophilia』6（3）71-74
- 「臨床研究における倫理の歴史と日本の現状」中島弘『医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス』41（12）920-926
- 「【戦争と医師たち 平和への希求と行動】ナチスと医師・医師会・社会保険 歴史的教訓は何か」日野秀逸『保団連』（1039）4-9
- 「心臓移植は医療として正しいか（抄）」藤倉一郎『日本医史学雑誌』56（2）173
- 「戦争と医学に関する医療倫理教育の課題 日本とドイツの医療倫理教育調査を踏まえて」吉中丈志，西山勝夫『医学教育』41（1）13-16
- 「【専門職において倫理綱領はなぜ必要か—応用倫理学の視点から】（抄）」吉永明弘『日本歯科医史学会々誌』28（4）260

## 08 医療器械

- 「胸腔鏡の進歩 Jacobaeus から100年（Advances in Pleuroscopy: a hundred years since Jacobaeus）（英語）」LeePyng『気管支学』32（Suppl.）S90
- 「METISからの提言 日本の医療機器・技術によるヘルスケア戦略（第2回）発見・発明から医療革新への道」相川直樹『INNERVISION』25（10）108-109
- 「【内視鏡・内視鏡外科治療最前線 低侵襲治療の進歩】我が国における内視鏡・内視鏡外科治療の歴史」北島政樹，吉田昌，久保田啓介，加藤悠太郎，黒田純子，似鳥修弘，出口倫明『日本臨床』68（7）1215-1223
- 「【血圧計のすべて】血圧測定 of 歴史」久保田博南『医療機器学』80（6）615-621
- 「新しい生体情報分析のための生体音響学の始まり 聴診器開発の歴史と電子聴診器」甲田昇『医工学治療』22（Suppl.）91
- 「消化器内視鏡 早期がん征圧に向けての歩み

- 大腸内視鏡の歴史と今後の展望」多田正大『日本消化器がん検診学会雑誌』48(5) 107
- 「消化器内視鏡 早期がん征圧に向けての歩み 大腸内視鏡の歴史と今後の展望」多田正大『Gastroenterological Endoscopy』52(Suppl.2) 2193
- 「明治初頭日本における医療技術の移入と医療技術評価—外科器械「焼灼電気器」の導入過程を事例として—」月澤美代子『医療機器学』80(5) 387-392
- 「ランビキの伝来について(抄)」ミヒェル・ヴォルフガング『医譚』(108) 6052-6053
- 「入門講座 Hans Berger によるヒトの脳波の発見とその後の脳波学の発展について(1)」山口成良『臨床脳波』52(11) 669-677
- 09 医療制度史・医療史**
- 「「燕行使」「通信使」と明末清初における東アジア医学知識の連動(抄)」陳明『日本医史学雑誌』56(2) 184
- 「明治時代初期における医師資格試験と医師の登録(The qualifying exam for general practitioners and the physicians' registry in the early Meiji period)(英語)」Higuchi Teruo『The Japanese Dental Science Review』46(1) 67-72
- 「官立医学校時代における卒業生の称号」赤祖父一知, 今井美和, 堀井美里『北陸医史』(32) 51-55
- 「韓国の介護保険制度と市民社会(NPO・NGO, 労働組合)(上)」秋葉武『いのちとくらし研究所報』(31) 15-19
- 「【集中治療とMET(Medical Emergency Team)/RRT(Rapid Response Team)】MET/RRTの概念と歴史」内野滋彦『ICUとCCU』34(6) 427-432
- 「【HQCによる健康体力づくり】クオリティコントロールからHQCへ, その歴史と方法」大澤清二『子どもと発育発達』8(3) 140-143
- 「インフォームド・コンセントの50年」岡本珠代『人間と科学: 県立広島大学保健福祉学部誌』10(1) 1-8
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践(第1回) 近代医療・保健制度の源流」小野尚香『治療』92(10) 2412-2416
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践(第2回) 近代社会と「健康保護」制度」小野尚香『治療』92(11) 2576-2580
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践(第3回) 「お雇い外国人」と近代医学教育」小野尚香『治療』92(12) 2782-2786
- 「日赤社員制度と意思決定に関する考察」川口啓子『医学史研究』(93) 18-28
- 「アメリカ通学制聾学校における聾者の社会的統合 その歴史研究の動向と課題」木村素子『特殊教育学研究』48(1) 55-65
- 「予防接種被害と心理学の役割 薬害・予防接種禍第1号事件の検証 京都・島根ジフテリア予防接種被害事件の概要」栗原敦『日本応用心理学大会発表論文集』77, 8-10
- 「ドクターヘリの過去, 現在, 未来」小濱啓次『日本救急医学会雑誌』21(6) 271-281
- 「医学研究における被験者保護の流れ(抄)」関根透, 島田道子『日本医史学雑誌』56(2) 174
- 「わが国の医療現場を取り巻く環境 現況と展望 クリニカルパスの歴史と意義, 今後の展望」副島秀久『医薬の門』50(2) 78-83
- 「旧「満州国」における医療行政と医師養成制度」高杉巴彦『15年戦争と日本の医学医療研究会誌』11(1) 10-15
- 「内科系診療所医師の技術評価について 診療報酬体系の歴史的考察」田倉智之『日本臨床内科医学会誌』25(3) 348
- 「中島友玄の閑谷并医学館入学諸事留一明治初年の医家継承事情—(抄)」中島洋一『日本医史学雑誌』56(2) 207
- 「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 ホスピスへの遠い道 人権運動としてのホスピスへ」二ノ坂保喜『死の臨床』33(1) 14-15
- 「満蒙開拓青少年義勇軍訓練生に対する医療と看護(抄)」額賀せつ子『日本医史学雑誌』56(2)

168

「社会福祉と医療政策・100話 第2次大戦と医療」野村拓『いのちとくらし研究所報』(31) 40-44

「第1回歯科医師国家試験と歯科医師免許証（抄）」樋口輝雄，上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』28(4) 281-282

「近年の政治及び経済政策が我が国の医療に与えた影響（抄）」藤岡彰，藤岡和美『日本医史学雑誌』56(2) 172

「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 日本にバイオエシックスを生むためのオーケストラ，指揮者は岡村昭彦 未完の楽譜の前で看護師のつぶやき」細野容子『死の臨床』33(1) 13

「救護法施行前後の都市医療社会事業—弘済会大阪慈恵病院を事例に—」松岡弘之『歴史評論』(726) 32-45

「日本近代における避妊の受容と家族の情緒化 1920年代を中心とした女性雑誌の言説分析」宮坂靖子『日本家政学会誌』61(5) 265-275

「郡上藩醫學校と種痘・施療事業（抄）」森永正文『日本医史学雑誌』56(2) 248

「ソーシャルワークの歴史と我が国における援助技術論の動向および課題」森合真一『医療福祉研究』(4) 97-108

「糖尿病療養指導士の歴史と展望（第15回）宮城県糖尿病療養指導士のあゆみと現状」山田憲一，及川幸恵『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』9(5) 783-785

「ホスピスへの遠い道 その歴史と現在・未来 マザー・エイケンヘッドと岡村昭彦 ホスピス運動黎明期の日本と岡村昭彦の使命」米沢慧『死の臨床』33(1) 12-13

## 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史

「インフルエンザ菌ワクチン アメリカでのワクチン接種ブームの始まり (Haemophilus influenzae vaccine: the beginning of the immunization boom in the United States) (英語)」SawyerMark H.『小児感染免疫』21(4) 399-403

「産業保健から社会医学へのイノベーションに向けて 産業安全，勤労者医療，公衆衛生との一元化への歴史的潮流」荒記俊一，北村文彦『産業医学レビュー』22(4) 167-198

「【喫煙をめぐる諸問題】喫煙習慣はいかに蔓延したか 世界的拡大とその歴史」川根博司『THE LUNG—perspectives』18(1) 15-18

「【公衆衛生再考】黎明期の公衆衛生 「大日本私立衛生会」を中心に」阪上孝『公衆衛生』74(3) 186-189

「釈迦時代における出家僧の健康管理について（抄）」杉田暉道『日本医史学雑誌』56(2) 192

「伝承された食禁忌の医学的検討—東京都伝承食禁忌からの試み—」高山真一郎，高山良政『医譚』(108) 5948-5952

「妊産婦と乳幼児の健康を支援する手帳制度の変遷と公衆衛生行政上の意義について」中島正夫『日本公衆衛生学会総会抄録集』69, 310

「【公衆衛生再考】戦後の公衆衛生行政再考」中原俊隆『公衆衛生』74(3) 190-193

「近代大阪のベスト流行にみる衛生行政の展開と医療・衛生環境」廣川和花『歴史評論』(726) 19-31

## 11 解剖学史

「HLA 命名法に関する40年史 (The first 40 years of HLA Nomenclature) (英語)」MarshSteven G.E.『MHC: Major Histocompatibility Complex』17(2) 119

「ファブリカの筋肉人の解剖学的研究 骨格を抽出して潜在的な歪みを分析する」阿久津裕彦，坂井建雄『解剖学雑誌』85(Suppl.) 152

「脈管外通路の研究変遷とその臨床解剖学 脈管外通路の歴史と構造的特徴」大谷修，大谷裕子『解剖学雑誌』85(Suppl.) 84

「杉田玄白らが行った江戸時代の解剖から見えて来たこと」柏田奈美，池田信行，北川裕基，前濱寛，花村広大，金子忠男，杉本久美，佐原正明，大野政明，稲葉崇，野田亮，尾崎伸伍『東洋療法学校協会学会誌』(33) 113-116

「解剖学の脱動物化—ガレノス解剖学の伝承と解

- 「解剖学の変化—(抄)」澤井直『日本医史学雑誌』56(2) 243
- 「脈管外通路の研究変遷とその臨床解剖学 脈管外通路の歴史とその研究展望」島田達生, 福永良和『解剖学雑誌』85(Suppl.) 85
- 「金澤大学所蔵キンストレーキの解組と新たに確認されたオランダ語・日本語ラベル(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』56(2) 254
- 「都立一橋高校地点遺跡から出土した江戸時代人骨の頭蓋計測学的研究」長岡朋人, 川久保善智, 平田和明『解剖学雑誌』85(Suppl.) 129
- 「大阪府堺市から出土した近世人頭蓋の計測的特徴」長岡朋人, 嶋谷和彦, 安部みき子, 平田和明, 熊倉博雄『解剖学雑誌』85(Suppl.) 129
- 「縄文時代人骨の古人口学的研究」長岡朋人『月刊考古学ジャーナル』(606)
- 「青森県八戸市田向遺跡から出土した江戸時代人骨の古病理学的研究」奈良貴史, 萩原康雄, 澤田純明『解剖学雑誌』85(Suppl.) 128
- 「島津製作所標本部製作の紙製人体解剖模型について」松浦由観, 川勝美早子, 安部みき子, 石森謙太, 首藤太一, 廣橋一裕『医学教育』41(Suppl.) 128
- 「近代中国における西洋解剖学の初期の伝播について(抄)」松本秀士, 坂井建雄『日本医史学雑誌』56(2) 185
- 「タルトゥ(ドルパト)大学 Anatomical theater の解剖学者たち」和氣健二郎, HussarPiret, 佐藤秋絵, 井上孝二, 佐藤哲二『解剖学雑誌』85(3) 91-96
- 12 眼科史**
- 「【多焦点眼内レンズ】開発の歴史と経緯」飯田嘉彦『眼科』52(6) 743-749
- 「眼科学論文発表 国際化の歴史, citation classics, sleeping beauty syndrome」大庭紀雄『日本眼科学会雑誌』114(臨増) 321
- 「網膜光障害の歴史」大平明弘『眼科臨床紀要』3(6) 610
- 「長崎西洋眼科史」北岡隆『眼科臨床紀要』3(6) 631-632
- 「江戸時代宮廷の眼科医」杉浦守邦『医譚』(108) 5926-5944
- 「眼科顕微鏡開発史—カールツァイス社の開発経過について—(抄)」園田真也『日本医史学雑誌』56(2) 246
- 「日本における人工水晶体導入経過について」園田真也『医譚』(108) 6004-5990
- 「日本における人工水晶体の開発経過について(抄)」園田真也『医譚』(108) 6069-6070
- 「コンタクトレンズ博物誌(その14)」田中英成『日本コンタクトレンズ学会誌』52(1) 73-76
- 「【オルソケラトロジー診療を始めるにあたって】オルソケラトロジーの歴史」土至田宏『あたらしい眼科』27(11) 1485-1488
- 13 看護史**
- 「看護という職業における歴史的な記憶とその重要性(Historical Memory and its Importance to the Nursing Profession)(英語)」NelsonSioban『日本看護研究学会雑誌』33(2) 127-132
- 「中国の近代史における看護教育の歩み」潘娜『山梨大学看護学会誌』9(1) 9-13
- 「看護教育施設連携のための代表者会の活動と意義 A 県看護教育施設代表者会45周年記念誌の編纂を通して」秋山由加里, 時本圭子, 古城幸子『インターナショナル Nursing Care Research』9(2) 87-92
- 「【母性・父性をはぐくむ 助産師に求められる役割】ヘルスケアの歴史的転換と助産師の役割」猪飼周平『助産雑誌』64(10) 862-866
- 「ナイチンゲール看護論の継承と発展 V.ヘンダーソンからM.ニューマンまで(前編, 後編)」薄井坦子『総合看護』45(1-2) 5-13, 65-75
- 「看護技術を支える倫理・哲学 透析看護40年の歩み」宇田有希『日本腎不全看護学会誌』12(1) 13-16
- 「聖路加国際病院における看護のあゆみ」内田卿子『日本看護歴史学会誌』(23) 1-6
- 「急性期ナースプラクティショナーの歴史的背景」エクランド源稚子『日本外科学会雑誌』111(3) 195-200



- 「プランゲ文庫所蔵新聞記事にみられる GHQ 看護課長オルトの記者会見の分析（抄）」大石杉乃『日本医史学雑誌』56(2) 169
- 『保健師助産師看護師法60年史』をめぐって看護行政のあゆみと看護の発展」大石杉乃，清水嘉与子，長濱晴子『看護』62(8) 70-72
- 「明治から現代までの教科書に記述された「よい看護師」の変遷」小野美喜，小西恵美子，八尋道子『日本看護倫理学会誌』2(1) 15-22
- 「【看護ケアの質評価と改善 研究の成果と今後の発展に向けて】【看護ケアの質評価・改善システムについて】 看護 QI 開発の歴史」上泉和子『看護研究』43(5) 373-376
- 「日赤社員制度と従軍看護婦」川口啓子『15年戦争と日本の医学医療研究会誌』11(1) 1-9
- 「1888（明治21）年磐梯山噴火における日本赤十字社の救護活動」川原由佳里『日本看護歴史学会誌』(23) 79-91
- 「日本赤十字社における支部選出看護婦—京都支部選出看護婦 高木ハルの事例をもとに—（抄）」川原由佳里，鷹野朋美，山崎裕二，殿城友紀，高橋朋子，川嶋みどり『日本医史学雑誌』56(2) 165
- 「難病看護の役割と課題 難病看護の歴史的背景と現状，今後の課題」川村佐和子『Nurse eye』23(3) 75-84
- 『看護管理』創刊20周年に振り返る 戦後の看護管理思想の発展過程と今後の課題 1945-1991 占領軍による思想の導入とその後の変遷」草刈淳子『看護管理』20(12) 1070-1077
- 『看護管理』創刊20周年に振り返る 戦後の看護管理思想の発展過程と今後の課題 1991-2010 教育体制・法整備の進展と看護の新たな役割」草刈淳子『看護管理』20(13) 1157-1163
- 「油川太嘉の『八種伝染病看護法』にみる看護の特徴」上坂良子『医史学研究』(93) 29-37
- 「明治期の医師—近藤常次郎による看護管理体制の示唆—（抄）」上坂良子『日本医史学雑誌』56(2) 164
- 「【産業看護学の現状と課題】 産業看護の歴史と展望」河野啓子『保健の科学』52(2) 76-80
- 「地域看護領域における『ネットワーク』概念の文献的検討」越田美穂子，守田孝恵『地域環境保健福祉研究』13(1) 1-16
- 「看護歴史探訪（その3） 小児精神医療のパイオニア富士川游の看護観」佐々木秀美『看護学統合研究』11(2) 37-49
- 「占領期・GHQ/SCAPによる病院再編と看護管理の形成過程 PHW/staff visitsからの実証」佐藤公美子，坪井良子，奥宮暁子，滝内隆子，青木涼子『日本看護歴史学会誌』(23) 41-53
- 「古代の多産」鈴木英鷹『産科と婦人科』77(10) 1245-1249
- 「占領期に教授された看護技術項目」滝内隆子，大津廣子『日本看護技術学会学術集会講演抄録集』9, 129
- 「Nightingaleは看護学の祖ではない 近代看護発祥の真相」田村直俊『埼玉医科大学短期大学紀要』21, 7-14
- 「『看護記録の書き方』の変遷からみる看護 看護記録開示と看護の挑戦」豊田久美子『京都市立看護短期大学紀要』(35) 77-81
- 「看護におけるケアの考え方の歴史」日野原重明『日本看護歴史学会誌』(23) 7-15
- 「明治24年濃尾地震における東京慈恵医院の救護・看護活動（抄）」平尾真智子，芳賀佐和子，蝦名總子『日本医史学雑誌』56(2) 166
- 「太平洋戦争下における日本赤十字社の看護教育 福島支部所属甲種救護看護婦生徒の疎開（その2）」舟越五百子『日本看護学会論文集：看護総合』(40) 126-128
- 「【分娩誘発 より安全に，より確実に】分娩誘発の歴史 より安全に，より確実に」堀口貞夫『周産期医学』40(9) 1317-1320
- 「緩和ケアにおける看護 その歴史とこれからの課題」丸口ミサエ『日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集』15, 92
- 「救急看護認定看護師 誕生から現在まで」森田孝子，川原千香子，芝田里花，菅原美樹，藤原正恵，山勢博彰『日本救急看護学会雑誌』12(4) 21-33
- 「近江婦人慈善会蒲生支会の看病婦養成（四）」八

木聖弥『啓迪』(28) 13-44

「看護書にみる体位の保持・変換に関する看護技術の歴史的変遷」山口みのり『日本看護歴史学会誌』(23) 54-67

「戦前の日本赤十字社看護人の救護活動(抄)」山崎裕二『日本医史学雑誌』56(1) 93-94

「京都看病婦学校教育施設完成までの経緯とその概要」依田和美, 竹中京子, 岡山寧子『日本看護歴史学会誌』(23) 68-78

#### 14 寄生虫学史

「京都における寄生虫疾患 その歴史と現状」有蘭直樹, 山田稔, 手越達也, 大西弘太郎, 塩田恒三, 内川隆一, 松田信治, 松本芳嗣, 吉川尚男『京都府立医科大学雑誌』119(9) 593-611

#### 15 教室・大学史

「戦時体制」と「官立金澤医科大学」—(その二)—  
蒔昭三『北陸医史』(32) 56-68

「東洋歯科医学校創設から佐藤運雄校長を支えた名補佐役川合渉と中川大介両先生について(抄)」工藤逸郎, 三宅正彦, 見崎徹, 小室歳信, 金山利吉他7名『日本歯科医史学会誌』28(4) 277-278

「医学校数推移の基礎資料としての文部省年報の統計について(抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』56(2) 258

「良医の育成を考える 日本医科大学130年有余の歴史から」田尻孝『医学教育』41(Suppl.) 1

「クルシウス没後400年記念のライデン大学」濱中淑彦『名古屋医報』(1340) 22-23

「企画展「医学教育の曙からノーベル賞まで—名古屋大学創立七〇周年(創基一三八周年記念—)」堀田慎一郎『名古屋大学大学文書資料室紀要』(18) 147-237

「東京医科大学のルーツを探る」松宮輝彦『東京医科大学雑誌』68(1) 3-8

「教育の殿堂・星薬科大学本館の迎ってきた道」三澤美和『薬史学雑誌』45(2) 130-137

「自校教育「創立者星一と建学の精神」(抄)」三澤美和『薬史学雑誌』45(2) 147

「歯科大学の誕生」水川秀海『歯科学報』110(5) 573-582

#### 16 軍陣医学史

「日露戦争期の広島予備病院における活動—一日赤救護班の看護活動を中心として—(抄)」岡本裕子, 坂村八恵, 隅田寛, 千田武志『日本医史学雑誌』56(2) 163

「北清事変期の広島陸軍予備病院における医療と看護」岡本裕子, 坂村八恵, 隅田寛, 千田武志『広島国際大学看護学ジャーナル』7(1) 15-25

「日本陸軍における看護卒と磨工卒の関係(抄)」鈴木紀子『日本医史学雑誌』56(2) 167

「陸軍における看護卒教育の始まり(明治6年~明治17年)」鈴木紀子『日本看護歴史学会誌』(23) 92-106

#### 18 外科史

「膵癌に対する膵頭十二指腸切除術 スペインにおいて学問分野・専門分野として1990年に確立したpancreatotomyの歴史(Pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer In Spain the history of pancreatology started in 1990 as a discipline and speciality)(英語)」Fernandez-CruzLaureano『日本外科学会雑誌』111(臨増2) 43

「日本における肺癌手術の開始と発展(Beginning and development of lung cancer surgery in Japan)(英語)」FujisawaTakehiko『General Thoracic and Cardiovascular Surgery』58(8) 387-392

「中国における皮弁開発の真の歴史 特にGroin flap, Chinese flap, ALT flap, Super-thin flapについて」高建華, 百束比古, 水野博司, 山本有平, 胡振富『日本形成外科学会誌』30(1) 36-43

「直腸癌切除 歴史的考察(Resection of Rectal Cancer: A Historical Review)(英語)」Inoue Yasuhiro, Kusunoki Masato『Surgery Today』40(6) 501-506

「膵癌に対する膵頭十二指腸切除術 今永一と日本における膵頭十二指腸切除術の歴史(Pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer Hajime Imanaga and the history of pancreatoduodenectomy

- in Japan) (英語) Nakao Akimasa 『日本外科学会雑誌』 111 (臨増2) 42
- 「フランスにおける膵臓手術 (Pancreatic Surgery In France) (英語) Partensky Christian 『Surgery Today』 40 (10) 895-901
- 「呼吸器外科の歴史と進歩 (History and Development of General Thoracic Surgery) (英語) Pearson Frederick Griffith 『肺癌』 50 (5) 422-423
- 「食道癌手術の歴史 (History of Esophageal Cancer Surgery) (英語) Rudiger Siewert Jorg 『日本食道学会学術集会プログラム・抄録集』 64, 75
- 「膵癌に対する膵頭十二指腸切除術 アメリカにおける膵切除の歴史と発展 1940年の Whipple 報告とその後 (Pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer History/Development of pancreatic resection in the United States: With/After Whipples Report in 1940) (英語) Sarr Michael G. 『日本外科学会雑誌』 111 (臨増2) 43
- 「ストーマリハビリテーションのたどってきた道、これから進む道 ストーマ造設術の移り変わり」と今後の課題」磯本浩晴 『消化器外科 Nursing』 15 (2) 208-211
- 「胃癌診療の歴史 (第6回) ビルロートの胃癌切除術 挑戦する外科医たち」岡島邦雄 『胃がん perspective』 3 (1) 59-69
- 「胃癌外科治療の変遷 Billrothより胃癌研究会、胃癌学会へ」岡島邦雄 『日本胃癌学会総会記事』 82, 109
- 「外科が科学となった日 近代医学のあけぼの」小川道雄 『日本臨床外科学会雑誌』 71 (増刊) 315
- 「【腹腔鏡下肝切除】わが国における腹腔鏡下肝切除術の歴史」金子弘真 『消化器外科』 33 (9) 1407-1412
- 「【穿通枝皮弁マニュアル】穿通枝皮弁の歴史」光嶋勲, 成島三長, 三原誠, 山本匠, 戸所健, 飯田拓也, 内田源太郎 『PEPARS』 (37) 1-9
- 「県立福岡病院外科部における3年間 (明治23年~25年) の手術について (抄)」小林晶 『日本医史学雑誌』 56 (2) 204
- 「胃癌外科治療」の温故 日本外科学会演題にみる黎明期の胃癌手術」佐藤裕 『日本胃癌学会総会記事』 82, 314
- 「日本の近代外科黎明期における胃癌手術 (抄)」佐藤裕 『日本医史学雑誌』 56 (2) 203
- 「【脳神経外科治療のデバイスを知る・使う】脊椎インスツルメンテーション 脳神経外科医にとっての歴史と展望」高安正和 『脳神経外科ジャーナル』 19 (7) 534-539
- 「ストーマリハビリテーションのたどってきた道、これから進む道 ストーマ保有者に対するケアの移り変わり」と今後の課題」登坂有子 『消化器外科 Nursing』 15 (1) 96-102
- 「名古屋大学の外科の歴史」中尾昭公 『日本外科学会雑誌』 111 (臨増2) 180
- 「鼠径部ヘルニア手術の歴史 若手外科医へのメッセージを込めて」蜂須賀丈博 『日本臨床外科学会雑誌』 71 (増刊) 321
- 「膵癌治療戦略のこれまでとこれから 手術法の特徴と集学的治療 歴史的変遷からみた膵癌治療戦略 術式と補助療法」羽鳥隆, 君島映, 藤田泉, 今泉俊秀, 山本雅一 『日本外科学会雑誌』 111 (臨増2) 82
- 「食道癌診療の歴史と現況 そして問題点」幕内博康 『ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease』 26 (1) 109
- 「Maze手術開発の歴史 Cox Maze IIIができるまで (抄)」光野正孝 『日本心臓血管外科学会雑誌』 39 (5) iv-vi
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 体位, 手術器具」米川泰弘 『Neurological Surgery』 38 (4) 381-396
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 アプローチ再考」米川泰弘 『Neurological Surgery』 38 (11) 1031-1045

## 19 細菌学史

- 「プロバイオティクスの歴史と進化」光岡知足 『日本乳酸菌学会誌』 21 (3) 239-240

## 20 産婦人科史

- 「法改正に伴う助産師教育と卒後教育を考える 助

- 産師教育のあるべき姿を考える」青木康子『母性衛生』51(3) 35-36
- 「妊娠・出産を対象とした集団指導運営の創始と展開 マチソンの行った「母親学級」を中心に」赤松恵美『インターナショナルNursing Care Research』9(2) 51-60
- 「助産婦の歴史 現代の助産婦(その19-30)」石原力『ペリネイタルケア』29(1-12) 96-97, 194-195, 268-269, 412-413, 514-515, 594-595, 702-703, 786-787, 914-915, 1002-1003, 1094-1095, 1162-1163
- 「日本におけるIVF基礎研究の歴史的背景」入谷明『日本IVF学会誌』13, 10-11
- 「安心して出産ができるために 過去・現在・未来」打出喜義『母性衛生』51(3) 63
- 「助産の歴史／ワークライフバランス 明治初期, 西洋医学に基づき開始された産婆の養成 神奈川県を事例を中心に」小川景子『日本助産学会誌』23(3) 438
- 「日本赤十字武蔵野短期大学専攻科における助産師教育の変遷 日本の助産師教育の変遷をふまえて」神谷桂, 谷津裕子, 鈴木美恵子『日本赤十字看護大学紀要』(24) 112-119
- 「愛知県下での産婆成立に関する研究 文献レビュー」下里志寿子『母性衛生』51(3) 265
- 「助産の歴史／ワークライフバランス 昭和20年代のA島での開業助産師の妊産婦への関わり」杉山智春, 岸川亜矢, 上山直美『日本助産学会誌』23(3) 437
- 「歴史学から見る日本の助産実践の歴史」高村恵美『日本助産学会誌』23(3) 351
- 「お産の歴史とこれからの産科医療」林和俊『高知市医師会医学雑誌』15(1) 232-240
- 「広汎子宮全摘術 この100年間の変遷」藤井信吾『日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌』(54) 25-31
- 「体外受精30年の風景」星和彦『山梨産科婦人科学会雑誌』1(1) 5-16
- 「昭和初期の助産師現任教育における専門雑誌の意義」松岡知子, 秋山廣子, 岩脇陽子, 滝下幸栄『日本看護学教育学会誌』20(学術集会講演集) 245
- 「終戦までの静岡県の産婆教育 「秋山産婆学校」を中心とした取り組み」望月千夏子『インターナショナルNursing Care Research』9(3) 23-31
- 「生殖-輝く「生」への過酷な道のり(第5回) 生殖科学・医学の歴史 学び取るべき教訓は(前編)」森崇英『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』17(2) 195-203
- 「日本の助産所における分娩施設としての変遷」山名香奈美『母性衛生』51(3) 184
- ## 21 歯学史
- 「コロンビアにおける歯科教育(Dental education in Colombia)(英語)」JaramilloJorge A., Ternera PulidoJairo H., Castro NunezJaime A., BirdWilliam F., KomabayashiTakashi『Journal of Oral Science』52(1) 137-143
- 「下顎隆起の出現状況の時代変化と成因」五十嵐由里子, 上江州香実, 中林隆, 金澤英作『解剖学雑誌』85(Suppl.) 118
- 「明治元年に中島宗達によって行われた集団歯科検診の可能性(抄)」池田貴裕, 福本雅文, 田中晃伸『日本歯科医史学会々誌』28(4) 293
- 「歯科医史学(歯科医学史)教育カリキュラムプランニングの試み(抄)」石井拓男, 平田創一郎, 渋谷敏, 西巻明彦, 小林馨他1名『日本歯科医史学会々誌』28(4) 302
- 「歯科における接着の始まり」今井庸二『日本歯科理工学会誌』29(6) 523-525
- 「歯科における笑気吸入鎮静法」今泉うの, 岩本宗春, 榊原毅, 別部尚司, 白濱淳, 高田一毅, 古屋宗孝, 有坂博史, 吉田和子『神奈川歯学』45(2) 121-124
- 「江戸期・明治期の口腔ケア(口腔清掃)はどのようにしていたか 日本の歯磨き, 歯磨粉の歴史をふりかえる」大野肅英『日本顎頭蓋機能学会誌』23(1) 46-47
- 「歯性病巣感染」温故知新」奥田克爾『歯科学報』110(3) 288-291
- 「北九州市京町遺跡第3地点出土人骨の歯科疾患状況」小山田常一, 井川一成, 北川賀一, 真鍋

- 義孝，加藤克知，松下孝幸，六反田篤『解剖学雑誌』85 (Suppl.) 129
- 「内務省衛生局編纂「歯と健康」（大阪府衛生會翻刻，仁丹の歯磨本舗発行：大正13年）について（抄）」加來洋子，山口秀紀，石橋肇，卯田昭夫，渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 294-295
- 「日本大学歯学部同窓会会誌」創刊号（昭和31年3月31日）の発行—歯科月報との関係について—1. 昭和19年6月の歯科月報の廃刊まで」工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，小室歳信，金山利吉他7名『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 311-322
- 「電氣的根管長測定法の開発と発展」小林千尋『日本歯科医師会雑誌』63 (2) 153-162
- 「福岡県立医学歯学専門学校と東京医学歯学専門学校のカリキュラムの比較（抄）」小林繁，上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 279-280
- 「福岡県立医学歯学専門学校の設立の経緯（抄）」小林繁，上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 283-284
- 「九州歯科大学学友会による無歯科医村無料診療活動の歴史（その1）（抄）」小林繁，上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 296-297
- 「宗教の功德と口腔（抄）」佐藤恭道，戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 272
- 「エナメル質減形成からさぐる縄文・弥生時代の健康状態」澤田純明『月刊考古学ジャーナル』(606) 33-37
- 「大正初期における局所麻酔法 小野英之助述 歯髓伝導麻痺法（歯科新報）1917年から」渋谷鉦，山口秀紀，卯田昭夫，石橋肇，加來洋子『歯科薬物療法』29 (3) 120-121
- 「歯科医学史の講義はいかに行われているか—全国の歯科大学・歯学部のアンケート調査から—」渋谷鉦，牧村正治，山口秀紀，加來洋子他3名『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 332-336
- 「明治時代中期の開花新聞広告について（抄）」下総高次『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 288-289
- 「歯科医療の特異性（医歯一・二元論）の歴史と現在「口腔医学」の創設・育成プロジェクトによせて」杉本是孝『日本歯科医史学会々誌』28 (3) 197-204
- 「保育所における「フッ化物洗口事業」の実施経験と「う蝕」統計上から見た今後の課題（抄）」杉本是孝『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 292
- 「THE VERIFICATION 検証の時代はじまる 上顎歯列弓拡大を考える（第1報） 上顎歯列弓拡大の歴史」関崎和夫『The Quintessence』29 (10) 2260-2268
- 「古人骨に認められた歯牙腫」竹中正巳『月刊考古学ジャーナル』(606)
- 「衛生展覧会と口腔衛生思想」竹原直道『口腔衛生学会雑誌』60 (4) 382
- 「國永正臣と私立九州歯科医学校の創設（抄）」竹原直道『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 276
- 「進化の歴史から捉えたアンチエイジング ヒトの進化と老化と歯周病の関係」千葉栄一『日本アンチエイジング歯科学会誌』3, 39-44
- 「梶原性全の偉業「頓医抄」と「万安方」に於ける口腔疾患について（その2）」戸出一郎，三浦一恵，深山治久『日本歯科医史学会々誌』28 (3) 189-194
- 「ヒューロン歯科医療白書 学校歯科保健活動の変遷」中道勇『日本歯科評論』70 (9) 135-138
- 「東洋女子歯科医学専門学校創定期文書について（1）：明華女子歯科医学校の設立申請（大正7年）（抄）」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 266-267
- 「東洋女子歯科医学専門学校創定期文書について（2）：明華女子歯科医学専門学校後援会趣意書（大正15年）（抄）」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 268-269
- 「血府逐瘀湯にみる歯科的事項（抄）」西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 308-309
- 「九州歯科大学昇格について（抄）」上瀉口武，小林繁，樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 285-286
- 「東京女子歯科医学講習所の開設時期について—東京都公文書館所蔵の開学願書を基に—（抄）」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』28 (4) 290-

291

「American Text-Book of Prosthetic Dentistry の概要, Part II (抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』28(4) 264

「江戸時代人の喪失歯(残存歯)数の研究」藤田尚『日本公衆衛生学会総会抄録集』69, 426

「縄文・弥生時代の抜歯風習と先史社会復元について」船橋京子『月刊考古学ジャーナル』(606)

「歴史的観点から これからの歯科医療はどこに行くのか 修復補綴の歴史的位置付け デンティストリーの黎明期のあり方」水谷惟紗久『アポロニア』(21194) 78-79

「歴史的観点から これからの歯科医療はどこに行くのか デンティスト教育の歴史 大学で訓練されなかった理由」水谷惟紗久『アポロニア』(21195) 78-79

「歴史的観点から これからの歯科医療はどこに行くのか 高齢社会への対応 歯科口腔の医師が求められる」水谷惟紗久『アポロニア』(21196) 78-80

「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から, 先人の英知を学ぶ(第13回) 硬質レジン」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』38(1) 117-120

「歯科技工 温故知新 技工道具の足跡から, 先人の英知を学ぶ(第14回)(最終回) サベヤーと日本の咬合器」本平孝志, 小田中康裕『歯科技工』38(3) 382-385

## 22 史跡・記念碑

「茶毘の歴史と行基墓所(抄)」亥口勝彦『医譚』(108) 6050-6051

「近世北播磨地誌考(一) —古文書に見る北播磨四郡の名所・旧跡—」賀茂田東六『北播磨探史研究会報』(8) 5-6

「上三草村おふさの彰孝碑」神崎壽福『北播磨探史研究会報』(8) 6-7

「古手町除痘館の記念碑建立について」川上潤『除痘館記念資料室だより』(2) 4

「ジェノヴァのジェンナー代理石像を訪ねて」杉田克生『STETHOSCOPE』(198) 8-11

「独躰庵墓碑変遷の考察(抄)」西巻明彦『医譚』

(108) 6068-6069

「麻布長谷寺の伊澤道盛・信平の墓(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』28(4) 287

## 23 疾病史

「白血病・リンパ腫細胞株の歴史(History of leukemia-lymphoma cell lines)(英語)」Drexler Hans G., Macleod Roderick A.F.『Human Cell』23(3) 75-82

「日本における農薬中毒の歴史的展望と日本農村医学会による対策(Historical Perspective of Pesticide Poisoning in Japan and Measures Taken by the Japanese Association of Rural Medicine)(英語)」Nagami Hiroshi『Journal of Rural Medicine』5(1) 129-133

「IgG4関連疾患 血液学的疾患の歴史的概観と病理学(IgG4-related disease: Historical overview and pathology of hematological disorders)(英語)」Sato Yasuharu, Notohara Kenji, Kojima Masaru, Takata Katsuyoshi, Masaki Yasufumi, Yoshino Tadashi『Pathology International』60(4) 247-258

「自閉症とてんかん 歴史的観点(Epilepsy in Autism Spectrum Disorders and Related Conditions Autism and epilepsy: Historical perspective)(英語)」Tuchman Roberto, Cuccaro Michael, Alessandri Michael『Brain & Development』32(9) 709-718

「ペラグラ 最初に発表された光線過敏症候群(Pellagra: the first published photosensitivity syndrome)(英語)」Wan Pengjie, Anstey Alex V., Zheng Jie『The Journal of Dermatology』37(Suppl.1) 108

「【螺旋 共生社会への歩み】自閉症概念の歴史的変遷」石坂好樹『児童青年精神医学とその近接領域』51(3) 296-312

「【高安病“発見から1世紀 研究と診療のあゆみ”】高安病発見から1世紀 研究と診療のあゆみ」磯部光章『医学のあゆみ』233(4) 263-267

「【TIA-update】TIA その病態と治療の変遷」井林雪郎, 豊田一則, 卜部貴夫, 井上亨『脳と循環』15(1) 11-19

「明治時代初期の疾病事情—国民の疾病と日清戦

- 争一」上野陽里『医学史研究』(93) 5-17
- 「ウイルス性下痢症の今昔」宇田川悦子，大石功，大野博司，中込治，河島尚志『Modern Media』56 (11) 265-292
- 「【わが国のライソゾーム病の病因，病態，診断，治療】ライソゾーム病の研究の歴史と概説」衛藤義勝『血液フロンティア』20 (4) 531-537
- 「難治性てんかんに対する脳神経外科手術の歴史と今後の展望」大槻泰介『Neurological Surgery』38 (3) 229-241
- 「胃癌診療の歴史（第7回）胃のリンパ流とその郭清」岡島邦雄『胃がん perspective』3 (3) 202-209
- 「日本史に現れた食道癌」掛川暉夫『日本食道学会学術集会プログラム・抄録集』64, 74
- 「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ（第4回）「ペスト」中世ヨーロッパを揺るがせた大災禍」加藤茂孝『Modern Media』56 (2) 36-48
- 「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ（第5回）「ポリオ」ルーズベルトはポリオではなかった？」加藤茂孝『Modern Media』56 (3) 61-68
- 「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ（第6回）ウエストナイルウイルス アレキサンダー大王の死因？」加藤茂孝『Modern Media』56 (4) 78-84
- 「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ（第7回）「麻疹（はしか） 天然痘と並ぶ2大感染症だった」加藤茂孝『Modern Media』56 (7) 159-171
- 「明治期のアルコール依存症の取り組み」日下修一『Dokkyo Journal of Medical Sciences』37 (2) 164
- 「アルツハイマー病 update アルツハイマー病オーバービュー 歴史と概念」葛原茂樹『Clinical Neuroscience』28 (9) 968-971
- 「糖尿病の歴史 糖尿病神経障害その後」葛谷健『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (1) 149-153
- 「糖尿病の歴史 グリコヘモグロビン 発見から糖尿病治療の指標になるまで」葛谷健『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (2) 316-320
- 「糖尿病の歴史 グルコースによるインスリン分泌 1960年代の話題」葛谷健『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (4) 618-622
- 「糖尿病の歴史 糖尿病の概念の変遷 症候学から代謝異常，成因へ」葛谷健『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (5) 791-795
- 「糖尿病の歴史 糖尿病の概念の変遷 慢性合併症の時代」葛谷健『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (6) 975-979
- 「【進行性失語症の神経心理学】Primary progressive aphasia その概念と変遷の歴史」小森憲治郎『神経心理学』26 (4) 255-263
- 「じん肺・アスベスト医療活動の報告とこれからの課題 北海道におけるじん肺患者救済の取り組みと課題」佐藤修二『社会労働衛生』7 (4) 35-51
- 「医学の歴史 「橋本病」の歴史 その始まりと定着過程」佐藤裕『臨牀と研究』87 (6) 831-837
- 「はしか（麻疹）の流行史（抄）」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』37 (2) 302
- 「わが国の食中毒の歴史 特に，微生物食中毒を主体に」品川邦汎『食品衛生学雑誌』51 (6) 274-278
- 「江戸時代の医学書にみる結核観の変遷（抄）」鈴木則子『日本医史学雑誌』56 (2) 178
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望（第14回）福島県糖尿病療養指導士会の取り組み」清野弘明『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (4) 607-609
- 「肺癌 呼吸器外科が歩んできた道・これからの道」高尾仁二『核医学』47 (4) 501
- 「【Parkinson 病の歩行障害】Parkinson 病の歩行障害 歴史的考察」高橋昭『神経内科』73 (6) 539-547
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望（第16回）北海道における糖尿病療養指導士への期待」竹内淳，鈴木久子，柳澤克之，吉岡成人『Q&A でわかる肥満と糖尿病』9 (6) 965-968
- 「肝臓にたいする認識の変遷—江戸から明治期にかけて—（抄）」大道寺慶子『日本医史学雑誌』56 (2) 218

- 「【肺癌 診断・治療の実際2010】歴史・予防・疫学」坪井栄孝『臨床画像』26(2) 122-123
- 「血液今昔物語 血液病-原典・現点(第8回) 発作性夜間血色素尿症(PNH) 謎の原点」中熊秀喜『血液フロンティア』20(8) 1240-1244
- 「皮膚血管炎の診療をどう進めるか 血管炎の歴史と疫学」中野敏明『日本皮膚科学会雑誌』120(13) 2637-2639
- 「【悪性リンパ腫 Update】悪性リンパ腫分類の変遷とWHO分類の意義 リンパ腫分類の過去・現在・未来」中村栄男『医学のあゆみ』235(5) 353-357
- 「【内科医にわかってほしいクローン病の外科治療】クローン病の自然史と治療の変遷」長坂光夫, 平田一郎『Intestine』14(5) 445-450
- 「【疲れとたるさ】慢性疲労症候群の歴史・変遷」橋本信也『JIM: Journal of Integrated Medicine』20(11) 862-865
- 「水虫と人との歴史」濱田信夫『生活衛生』54(2) 173-181
- 「C型肝炎ウイルス発見から20年 今後の展望 C型肝炎研究の歴史と今後の展望」林紀夫, 平松直樹, 竹原徹郎『日本消化器病学会雑誌』107(臨増大会) A482
- 「【インクレチン】インクレチンの歴史と概念」表孝徳, 清野裕『月刊糖尿病』2(2) 10-18
- 「【インクレチンのすべて 膵β細胞研究から新たな糖尿病治療へ】概論 インクレチンの概念と歴史 発見と発展, そして展望」表孝徳, 清野裕『医学のあゆみ』233(5) 329-337
- 「【特発性心室細動 病態から治療まで】特発性心室細動の歴史と定義」平岡昌和『呼吸と循環』58(1) 7-15
- 「原典・古典の紹介 Lhermitte徴候」古川哲雄『神経内科』72(3) 322-325
- 「原典・古典の紹介 Todd麻痺」古川哲雄『神経内科』72(2) 217-222
- 「ハンセン病の歴史に学ぶ ハンセン病療養所医療100年をふりかえる」牧野正直『日本ハンセン病学会雑誌』79(1) 25-36
- 「てんかんからみる人物の横顔 異論異説のてんかん史」松浦雅人『Epilepsy: てんかんの総合学術誌』4(1) 67-71
- 「てんかんと脳波 ハンス・ベルガー, ヒトの脳波報告から80年」松浦雅人, 飛松省三, 中里信和, 小林勝弘『Epilepsy: てんかんの総合学術誌』4(1) 7-12
- 「【肥満症 update】肥満症 基礎・臨床研究における歴史と変遷」松澤佑次『総合臨床』59(9) 1877-1879
- 「【インフルエンザ】疫病としてのインフルエンザの歴史」松本慶蔵『小児内科』42(9) 1431-1436
- 「【呼吸器疾患感受性 遺伝的背景】IPF/UIP, IIPs」宮崎泰成『日本胸部臨床』69(8) 709-716
- 「C型肝炎ウイルス研究の歴史と展望」宮村達男『肝臓』51(Suppl. 1) A10
- 「歴史に好奇心 古きを活かして現在も活かす ビタミンB1欠乏症と脚気 森林太郎と高木兼寛の異なった脚気予防・治療のアプローチ」森昌彦『歯科医療』24(2) 137-156
- 「歴史に好奇心 古きを活かして現在も活かす ビタミンCと壊血病 イギリス船員の壊血病対策, カテーサークとオールド・パーの物語」森昌彦『歯科医療』24(3) 107-121
- 「【睡眠時無呼吸症候群 研究と臨床の新時代】睡眠時無呼吸症候群 歴史的展開と研究の最先端」山内基雄, 木村弘『THE LUNG-perspectives』18(3) 223-225
- 「骨粗鬆症研究50年の回顧」山本吉蔵『日本骨形態計測学会雑誌』20(1) S33

## 24 耳鼻咽喉科史

- 「本邦における耳科学の歴史と展開」加我君孝『Otology Japan』20(4) 273
- 「【アレルギーの臨床 この30年の進歩と展望】アレルギー性鼻炎 この30年の進歩と今後の展望」川内秀之『アレルギーの臨床』30(4) 318-326
- 「明治末期から昭和戦前期の耳鼻咽喉科医師による嚥舌教育への関与 九州帝国大学医学部耳鼻咽喉科学教室を中心に」佐々木順二『障害科学研究』34, 221-230



- 「エアロゾル療法に関する研究の歴史と今後の展望」内藤健晴『耳鼻咽喉科展望』53（補冊2）35-39
- 「耳垢型遺伝子の発見と発現機構 薬剤耐性から東アジア人の大移動まで 日本における小児耳鼻咽喉科学発展の歴史と今後の展望」新川詔夫『小児耳鼻咽喉科』31（2）85

## 25 種痘史

- 「大坂除痘館と緒方洪庵—その開設と展開—」浅井允晶『除痘館記念資料室だより』（2）2
- 「中川修節宛て「除痘館分苗免状」」浅井允晶『除痘館記念資料室だより』（1）2-3
- 「エドワード・ジェンナーの牛痘種痘法開発の意義」加藤四郎『除痘館記念資料室だより』（1）3
- 「牛痘種痘苗（モーニケ苗）伝来の経緯について」加藤四郎『除痘館記念資料室だより』（2）2
- 「中島友玄と岡山県邑久郡における江戸末期～明治初期の種痘」木下浩『医譚』（108）6020-6038
- 「医者も知りたい【医者のはなし】（第42回）お玉ヶ池種痘所を助けた2人の物語」木村専太郎『臨床整形外科』45（11）1010-1014
- 「大阪の除痘館開設160年に寄せて」古西義麿『除痘館記念資料室だより』（1）2
- 「緒方洪庵と種痘—その人脈を探る—（抄）」古西義麿『日本医史学雑誌』56（2）247
- 「緒方洪庵の日記を読む 除痘館研究の側面から」古西義麿『医譚』（109）6106-6119
- 「正陸公の英断，佐倉種痘160周年記念」酒井シヅ『風媒花』（23）26-27
- 「日本で種痘が行われ始めたのは，嘉永元年か嘉永二年か」白崎昭一郎『北陸医史』（32）21-37
- 「新出の平沢屏山のアイヌ種痘図に関する一考察—オムスク造形美術館所蔵の「種痘図」を巡って—」松木明知『日本医史学雑誌』56（3）427-436
- 「ボンベ・ファン・メールデルフォールトと牛痘種痘（第1報）（抄）」松木明知『日本医史学雑誌』56（2）250
- 「大坂除痘館の推移と発展—官立化と変遷をめぐって—」米田該典『除痘館記念資料室だより』

（2）3

- 「人痘種痘法から牛痘種痘法へ」米田該典『除痘館記念資料室だより』（1）3-4
- 「日本のワクチン受容史—ジェンナー博物館にて予防接種法を考える—（抄）」渡部幹夫『日本医史学雑誌』56（1）95-96

## 26 獣医学史

- 「中獣医学の東方（日本・韓国）への伝播 初探」王成，李群，許劍琴，他『日本獣医史学雑誌』（47）48-59
- 「日本の牛海綿状脳症（BSE）発生の経緯と対策 および周辺国への影響」小野寺節，杉浦勝明『日本獣医史学雑誌』（47）1-20
- 「忠犬タマ公」小佐々学『日本獣医史学雑誌』（47）21-33
- 「日本在来馬と西洋馬—日欧獣医学交流史と関連して—（抄）」小佐々学『日本医史学雑誌』56（1）96-97
- 「戦後日本の狂犬病対策と今後の課題 文献学的考察」木場宣宏，肥田野新，川崎怜子，大林由英，玉城英彦『北海道公衆衛生学雑誌』23（2）67-72
- 「村上要信著「鶏病治方」について」佐藤静夫『日本獣医史学雑誌』（47）66-73
- 「馬の人工授精法に関する大正時代の馬政局による受胎試験の結果」三宅陽一『Hippophile』（39）12-15
- 「獣医学歴史秘話ヒストリア 過去，現在，そして未来へ」三宅陽一『北海道獣医師会雑誌』54（6）242-248
- 「わが国における馬の人工授精に関する最初の試験成績について」三宅陽一『家畜人工授精』（260）6-11
- 「医学研究における実験用霊長類の歴史」山内一也『LABIO 21』（40）14-17
- 「牛疫根絶 未来を見据えて Introduction 日本における牛疫」山内一也『日本獣医学会学術集会講演要旨集』149，140
- 「牛疫根絶に貢献したウサギ順化牛疫ワクチン 出発点は動物モデルの作出」山内一也『LABIO

21』(39) 5-9

「牛疫根絶への歩みと日本の寄与」山内一也『日本獣医師会雑誌』63(9) 649-654

「ルイ・パスツールの弟子マルセル・メリュールからメリアル、百年以上の歴史を持つワクチン」ミシェル・ラショセ『日本獣医史学雑誌』(47) 64-65

「近代中国畜牧科学研究事業発展の回顧と思考」李群『日本獣医史学雑誌』(47) 34-47

「日本の芸術と歴史における犬について」ラファエル・ロンカリ『日本獣医史学雑誌』(47) 60-63

## 27 書簡

「池田文書の研究(37) 武家華族の書簡(その2)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』56(1) 79-88

「池田文書の研究(38) 勲功華族の書簡(その2)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』56(4) 539-548

「三木栄宛の手紙—その二—」白井順『医譚』(109) 6198-6205

「華岡青洲に宛てた杉田玄白の書簡」長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』28(3) 195-196

## 28 書誌学

「江戸の医案を読む(第10回) 津田玄仙『療治茶談』続編附録より(その2)」秋葉哲生, 平馬直樹『漢方と診療』1(1) 72-79

「江戸の医案を読む(第11回) 津田玄仙『療治茶談』初編より」秋葉哲生, 平馬直樹『漢方と診療』1(2) 140-147

「江戸の医案を読む(第12回) 原南陽『叢桂亭医事小言』より」秋葉哲生, 平馬直樹『漢方と診療』1(3) 206-212

「江戸の医案を読む(第13回) 山田業広・山田業精『井見集附録』より(その3)」秋葉哲生, 平馬直樹『漢方と診療』1(4) 272-279

「東博所蔵の江戸医学館旧蔵書に関する検討(抄)」天野陽介, 小曾戸洋, 町泉寿郎, 星野卓之『日本医史学雑誌』56(2) 241

「長沢道寿『藪医問答』の解題と翻刻」アレクサンドロ・ピアンキ, 町泉寿郎『日本医史学雑誌』

56(1) 136-106

「江陵張家山漢簡『引書』譯註と研究(二-三)」猪飼祥夫『医譚』(108-109) 5912-5925, 6095-6165

「『医心方』と半井家」石橋郁子『京』(163) 14-19  
「『鍼法秘粹』について(抄)」岩田源太郎『日本医史学雑誌』56(2) 260

「『体雅』諸本10種の関係について(抄)」浦山きか『日本医史学雑誌』56(2) 239

「蘭山の『本草綱目啓蒙』から榕菴の『植物啓原』へ(抄)」遠藤正治『医譚』(108) 6073-6074

「日高家資料の翻刻—文芸資料を中心に—」扇浦正義『鳴滝紀要』(20) 49-64

「京都府立盲学校資料室所蔵の『杉山真伝流』関連写本類について(抄)」大浦宏勝, 市川友理『日本医史学雑誌』56(2) 234

「松岡恕庵『怡顔齋苔品』について—編纂過程とその特色—(抄)」太田由佳『医譚』(108) 6064-6065

「史料紹介 中山文庫「魯西亜滞船中日記」(3)」織田毅『鳴滝紀要』(20) 65-88

「近代以前と以後における民衆向け育児書の変貌—『小児養育金礎』の解説, 比較分析, および翻刻—」梶谷真司『帝京大学外国語外国文化』(3) 55-181

「東海道本陣史料に見るカピタンの旅」片桐一男『洋学史研究』(27) 1-49

「『医箴』: 志賀貴洋史の書から」久貝信夫『防衛医科大学校雑誌』35(3) 145-151

「『文正草子』の中の身体に関わる表現(抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』56(2) 230

「教科書としての杉山流三部書」河野都紀子, 島田りか, 末定伸子, 吉田修一, 小杉順一, 金子泰久『東洋療法学校協会学会誌』(33) 59-61

「江戸医学館旧蔵医書の行方」小曾戸洋, 天野陽介, 星野卓之, 渡辺浩二, 津田篤太郎, 石野尚吾, 花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 258

「江戸医学館蔵書集散の顛末(抄)」小曾戸洋, 天野陽介, 町泉寿郎, 星野卓之『日本医史学雑誌』56(2) 242

- 「青山道醇の『鍼灸備要』について（抄）」木場由衣登『日本医史学雑誌』56(2) 236
- 『軍医寮局方』（明治4年）収載品目と『扶氏薬剂学』（明治14-17年）」五位野政彦『日本薬剂師会学術大会講演要旨集』43, 463
- 「医術と翻訳の大発展 『解体新書』が及ぼしたさまざまな影響」酒井シヅ『歴史読本』55(11) 194-201
- 「中山城山の『黄庭内景経略註』について（抄）」坂出祥伸『日本医史学雑誌』56(2) 194
- 『重訂解體新書』について 特に「名義解」の内容を中心として」島田和幸『解剖学雑誌』85(2) 85
- 『古今方彙』編纂の意図」鈴木達彦『日本東洋医学雑誌』61(3) 289-298
- 『家伝預薬集』の研究（抄）」鈴木達彦，砥上京子，森田まゆ『日本医史学雑誌』56(2) 235
- 『四時経こう注』について」竹内尚『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 328
- 「国立国会図書館所蔵『体雅』について（抄）」竹内尚『日本医史学雑誌』56(2) 240
- 「眼目秘録について（第3報）（抄）」竹田眞『薬史学雑誌』45(2) 140
- 『僧深方』—『医心方』『外台秘要方』からの輯佚（抄）」多田伊織『日本医史学雑誌』56(2) 227
- 「田中彌性園収蔵古醫書のうち稀本（Ⅲ）（抄）」田中祐尾『医譚』（108）6071-6073
- 「田中彌性園所蔵小野蘭山書簡およびその学統について」田中祐尾『医譚』（108）6058-6062
- 『経穴古今省略』について」鶴田泰平『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 330
- 「日本近世における灸穴資料の構成」寺川華奈『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 329
- 「和田啓十郎著『医界之鉄椎』と漢方の課題」寺澤捷年『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 90
- 「吳秀三著『華岡青洲先生及其外科』の鎌田正澄玄台 数ヶ所の誤った記述」土手健太郎，矢野雅起，池宗啓蔵，西原佑，飛田文，渡辺敏光，惣谷昌夫，中西和雄，萬家俊博，長櫓巧『麻酔』59(10) 1321-1324
- 「惟準の著訳書および関係書の展示と解説（抄）」中山沃『医譚』（108）6055-6056
- 「渋江抽斉著『靈樞講義』所引「古抄本」について」永塚憲治『日本医史学雑誌』56(4) 501-511
- 「[北山家伝腹診書]の出現 日本腹診史のターニング・ポイント [北山家伝腹診書]の書誌と翻刻」長野仁『鍼灸Osaka』26(2) 223-233, 125-130
- 「鍼立たちの病の見分け 『鍼秘伝』に描かれた24種類の腹状図 『鍼秘伝』の書誌と翻刻 寛永期における鍼治用の腹状図の創意」長野仁『鍼灸Osaka』26(3) 359-364, 243-248
- 「本木良意訳『阿蘭陀経路筋脈臟腑図解』をめぐる考察（抄）」成瀬勝俊，片山昇，片山誠二郎『日本医史学雑誌』56(2) 253
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」について（第8報）カスバル流外科について（抄）」秦温信，松岡伸一，佐野文男，島田保久，鮫島夏樹『薬史学雑誌』45(2) 142
- 『『百科全書医学篇』（明治7年文部省刊）とChambersの原本（1857年）について（抄）」樋口輝雄『日本医史学雑誌』56(2) 245
- 「『神農本草経』の問題」真柳誠『斯文』（119）92-117
- 『草木図説』稿本の解読（1）」水野瑞夫，酒井英二，遠藤正治『慾齋研究会だより』（121）1-7
- 『鍼灸要法』について（抄）」宮川隆弘『日本医史学雑誌』56(2) 231
- 「ブランデンシュタイン家所蔵，1825年，1826年シーボルト書簡の翻刻並びに翻訳（補遺1）」宮坂正英，ベルント・ノイマン，石川光庸『鳴滝紀要』（20）7-38
- 「日高涼台『異邦産論』について」吉田忠『鳴滝紀要』（20）39-48
- 「浅田宗伯編著になる『医学典刑』の代表的3写本の比較検討について」渡辺浩二，小曾戸洋，天野陽介，花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 257

## 29 小児科史

「小児神経外科 フランスにおける歴史，進歩，

- 教育システム Necker Enfants Malades 病院における経験 (Pediatric Neurosurgery: History, Development, Educational System In France: Experience of Necker Enfants Malades Hospital) (英語) Pierre-Kahn Alain『小児の脳神経』35(2) 178-180
- 「わが国の新生児マス・スクリーニングの回顧と展望」安達昌功『こども医療センター医学誌』39(2) 72-76
- 「【小児の摂食・嚥下リハビリテーションにおける連携医療】我が国における重症心身障害児医療の歴史」有馬正高『MEDICAL REHABILITATION』(122) 9-11
- 「重症心身障害児医療の歴史」有馬正高『Dental Medicine Research』30(2) 199
- 「近代日本における「児童虐待」の様相と課題資料 三田谷啓著「児童の虐待に就きて」から」小野尚香『医譚』(108) 5981-5989
- 「近代日本における教育・社会・精神衛生的課題としての児童の「自殺」資料 三田谷啓著「児童の自殺」小野尚香『医譚』(109) 6183-6192
- 「母乳をめぐる自然概念の歴史の変遷(抄)」梶谷真司『日本医史学雑誌』56(3) 456-457
- 「子育て、育ちの歴史的考察 過去から今を知る」小池茂之『子どもの心とからだ』19(1) 92
- 「【見逃すな！ 子ども虐待】子ども虐待の歴史」庄司順一『小児内科』42(11) 1743-1747
- 「【発達障害】をめぐる研究動向 国際知的障害研究連盟 IASSID における研究の歴史と現状」末光茂『発達障害研究』32(1) 16-20
- 「【小児の脳死判定】脳死の歴史と課題 「いのちの多様性」を認める文化を」杉本健郎『小児科臨床』63(7) 1571-1577
- 「【発達障害の未来を考える—小児科医に必要なスキル】総論 発達障害医療が果たす役割 わが国の歴史を振り返って」竹下研三『小児科診療』73(4) 541-548
- 「【日々の実践につなげる小児緩和ケア；子どもと家族の安楽を支えるために】知っておきたい知識 小児緩和ケアの理念とその歴史」多田羅竜平『小児看護』33(11) 1468-1473
- 「小児鍼の起源について—小児鍼師の誕生とその歴史的背景—」長野仁, 高岡裕『日本医史学雑誌』56(3) 387-414
- 「【児科雑誌】に発表された仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡 大久保直穆による垂鉛中毒説」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『労働科学』86(6) 317-330
- 「鉛中毒の歴史に関する研究 「児科雑誌」における仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡(1931~1935)」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『産業衛生学雑誌』52(臨増) 491
- 「小児非薬物治療の歴史と展望 心不全治療と不整脈治療 小児における心臓再同期療法の実際」安河内聡, 芳本潤『日本小児循環器学会雑誌』26(Suppl.) 225
- 「小児白血病の治療の進歩」和田恵美子『東京女子医科大学雑誌』80(9) 271-275

### 31 診断学史

- 「頭痛の歴史と診断治療の進歩」坂井文彦『日本頭痛学会誌』37(2) 145-146
- 「心肺圧受容器反射の発見」田村直俊『日本自律神経学会総会プログラム・抄録集』63, 153

### 32 整形外科史

- 「THA revision 人工関節周囲骨融解の基礎研究 その歴史と新しい動物モデル」金強中, 岩瀬美保『東日本整形災害外科学会雑誌』22(3) 295
- 「人工肘関節置換術の機種選択と臨床成績 人工肘関節の歴史の変遷と現状」加藤博之『日本整形外科学会雑誌』84(10) 875-881
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ アメリカ整形外科の近代化 アメリカの整形外科と第一次世界大戦」蒲原宏『整形外科看護』15(1) 94-96
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ アメリカ整形外科の近代化 アメリカ整形外科近代化のパイオニアたち(1)-(2)」蒲原宏『整形外科看護』15(2-3) 208-209, 314-315
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ ア

- メリカ整形外科の近代化 リドロンに影響を受けた整形外科医の群像 (1)–(6) 蒲原宏『整形外科看護』15 (4–9) 428–430, 530–532, 650–652, 758–760, 868–871, 982–984
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ アメリカ整形外科の近代化 ポストン学派の興隆とそれを支えた整形外科医たち (1)–(3)」蒲原宏『整形外科看護』15 (10–12) 1082–1085, 1200–1201, 1300–1302
- 「【徒手理学療法】徒手理学療法の歴史」砂川勇『理学療法ジャーナル』44 (8) 639–644
- 「AKA- 博田法の10年」博田節夫『日本関節運動学的アプローチ医学会誌』11 (1) 53–115
- 「こどもの運動器の健やかな成長を願って 先天性内反足 Denis Browne 副子の歴史と機能について」山本晴康『日本小児整形外科学会雑誌』19 (2) 230–235
- ### 33 精神医学史
- 「韓国におけるCBTの歴史と発達 (The History and Development of CBT in Korea) (英語)」Cho Hyun Ju『行動療法研究』36 (3) 255
- 「加齢とタナトロジーの観点から見た日本における老年精神医学的ケアの歴史的視点 (Historical View of Geriatric Psychiatric Care in Japan Related with Aging and Thanatology) (英語)」Kitanishi Kenji『International Medical Journal』17 (Suppl. 1) 15–18
- 「東京都立松沢病院に入院した覚せい剤関連障害患者の変遷」合川勇三, 梅野充, 森田展彰, 岡田直大, 池田朋広, 梅津寛, 妹尾栄一, 中谷陽二, 岡崎祐士『日本アルコール・薬物医学会雑誌』45, 164
- 「【精神医療の1968年】未完の盟約 ひとつの1968年論」浅野弘毅『精神医療』(60) 82–90
- 「活用SST 医師が知っておきたいSSTの適応と効果 SSTとは? その発展の歴史は?」浅見隆康『精神神経学雑誌』2010 (特別) S-275
- 「F.H. レヴィー (1885~1950) の神経学研究所の設立をめぐる K.L. ボーンヘッファー (1868~1948) との確執 神経 (精神) 医学史断章」池村義明『精神医学史研究』14 (2) 116–123
- 「ドイツ精神医学から見た E. Bleuler 精神医学史的観点より」池村義明『臨床精神病理』31 (1) 57–58
- 「【心身症と身体表現性障害】心身症概念のあけぼの 心身相関」石崎優子『子どもの心とからだ』19 (2) 122–126
- 「サイコオンコロジー その歴史と展望」内富庸介『日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集』15, 91
- 「生態的ニッチとしてのうつ病とジャネの神経症論」大月康義『精神医学史研究』14 (1) 53
- 「『資料集 日本の精神障害者 (戦前篇)』編集にむけて (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』56 (3) 459–461
- 「安藤昌益学派の『真斎漫筆』にみる乱神病 (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』56 (2) 200
- 「【統合失調症】統合失調症の歴史 その治療と仮説が語るもの」小野和哉, 中山和彦『こころのりんしょう a・la・carte』29 (2) 203–208
- 「太平洋戦争終結以前の朝鮮半島の精神医学」風祭元『精神医学史研究』14 (2) 105–115
- 「奄美諸島の私宅監置と医介輔問題 (抄)」金川英雄, 堀みゆき『日本医史学雑誌』56 (2) 201
- 「戦前の絵地図に載る観光名所としての精神病院」金川英雄, 堀みゆき, 米田恵美『日本社会精神医学会雑誌』19 (1) 101
- 「戦前, 精神障害者の治療を担っていた民間施設とは—1 高尾山の小滝場が関東圏で果たしていた役割」金川英雄『精神看護』13 (1) 95–100
- 「死別ケア研究の歴史的系譜」金子絵里乃『緩和ケア』20 (4) 375–378
- 「フランス近代精神医学の黎明期 (1798年~1838年) における「人格」概念形成と「欲望」の位置」加納由起子『精神医学史研究』14 (1) 55
- 「和歌山県における精神医療の歴史」北端裕司『病院・地域精神医学』53 (1) 21–25
- 「【精神医療の1968年】児童精神医学会の1968年1960年代からの障害児問題」小池清廉『精神医療』(60) 59–67

- 「インド古代仏典における精神障害の記述と病因論」小池清廉『精神医学史研究』14(1) 51
- 「古代インド仏典における精神障害の症状論と病因論」小池清廉『精神医学史研究』14(2) 96-104
- 「急性精神病の現状と再考 診断・治療から 急性精神病の診断における歴史的背景と概念整理」康純『精神神経学雑誌』112(4) 369-375
- 「中国伝統医学における精神医学史」湖海正尋『精神神経学雑誌』112(2) 175-179
- 「小林靖彦の資料研究—ミクロの視点から見た日本の精神医療の歴史—(抄)」小林ひとみ『日本医史学雑誌』56(2) 202
- 「台湾総督府養神院について」近藤等『精神医学史研究』14(1) 55-56
- 「戦前, 精神障害者の治療を担っていた民間施設とは—2 幻の施設, 東北慈恵院」近藤等『精神看護』13(2) 86-91
- 「双極性(感情)障害の精神医学史」酒井明夫『精神神経学雑誌』2010(特別) S-269
- 「双極性(感情)障害の精神医学史 西欧古代の文献に関する一考察」酒井明夫『精神神経学雑誌』112(12) 1253-1260
- 「【覚せい剤精神病】覚せい剤精神病の臨床研究と治療の歴史・展望」佐藤光源『Schizophrenia Frontier』11(2) 93-96
- 「戦前, 精神障害者の治療を担っていた民間施設とは—3 富士山中にあった民間療法施設「不二大和同園」」澤田恵子『精神看護』13(3) 92-96
- 「【精神医療の1968年】1970年前後, 臨床心理学とその周辺」篠原陸治『精神医療』(60) 49-58
- 「【精神医療の1968年】精神科看護の1968年」柴田恭亮, 松崎澄子, 犬飼直子『精神医療』(60) 40-48
- 「在宅における認知症ケアの歴史的変遷についての一考察 1970~1980年代の家庭奉仕員による社会福祉サービスを中心に」渋谷光美『日本認知症ケア学会誌』9(2) 305
- 「Eugenics, Environment, and Acclimatizing to Manchukuo: Psychiatric Studies of Japanese Colonists (英語)」Janice MATSUMURA『日本医史学雑誌』56(3) 329-350
- 「自分史分析の一考察 4 テーマ分析によるライフストーリーの生成」杉原俊二『高知女子大学紀要(社会福祉学部編)』59, 47-66
- 「精神医学における臨床と社会 精神医学史の可能性」鈴木晃仁『精神医学史研究』14(1) 7-14
- 「天平時代の精神医学 藤原宮子の病状とその治療」鈴木英鷹『大阪河崎リハビリテーション大学紀要』4, 9-18
- 「奈良から平安初期における日本人の自殺 『続日本紀』『日本後紀』による検討」鈴木英鷹『日本医事新報』(4517) 95-98
- 「地方都市精神病院における作業療法の草分け(第2報)(昭和初期から終戦までにおける七山病院の取り組み)」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治, 入澤聡『精神医学史研究』14(1) 50-51
- 「地方都市精神病院における作業療法の草分け(第2報) 昭和初期における七山病院の作業療法」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治, 入澤聡『精神神経学雑誌』2010(特別) S-300
- 「【精神医療の1968年】資料・クロニクル1968」高岡健『精神医療』(60) 34-39
- 「多職種からみた精神医療史 精神医学史の周辺としての臨床心理学史」高砂大樹『精神医学史研究』14(2) 124-130
- 「【司法精神医学の現在 北米と日本】精神科医療と法・倫理 戦後を回顧して」高柳功『臨床精神医学』39(10) 1331-1338
- 「【精神療法家・心理療法家の養成と訓練】森田療法家の訓練 歴史的な転換期を迎えて」立松一徳『精神療法』36(3) 39-43
- 「呉秀三が訪問した日露戦争時の陸軍廣島豫備病院の精神科医療(その3) 治療法」田端幸枝『精神医学史研究』14(1) 50
- 「精神科医療に関わる電気療法 江戸時代から日露戦争まで」田端幸枝『精神医学史研究』14(1) 49-50
- 「森田療法における生活と作業に関する一考察 新教育運動の観点から」豊泉清浩『日本森田療法学会雑誌』21(2) 167-175
- 「【わが国の精神科治療のこれまでとこれからへの

- メッセージ 創刊25周年記念特集】戦後日本精神医学史（1960～2010年）粗稿」中井久夫『精神科治療学』25(1)3-9
- 「日本における犯罪学の歴史と動向（第1回）精神医学 戦後編 日本における戦後の犯罪精神医学の歴史について」中田修『犯罪学雑誌』76(1)25-31
- 「京都岩倉における精神病者受け入れと精神医療行政」中村治『精神医学史研究』14(2)89-95
- 「老いのたわごと 日本社会精神医学外史（その7）「生活臨床」（江熊要一派）の功罪」浜田晋『精神医療』（58）103-115
- 「老いのたわごと 日本社会精神医学外史（その8）小坂英世という男」浜田晋『精神医療』（59）153-162
- 「老いのたわごと 日本社会精神医学外史（その9）閉ざされた地域（長野県木曾）における金松直也の活動と私」浜田晋『精神医療』（60）116-125
- 【「精神医療の1968年」1968年一時代の転換期と精神医療」広田伊蘇夫，中山宏太郎，松本雅彦，岩尾俊一郎，佐原美智子，高岡健『精神医療』（60）8-33
- 【「追悼 藤澤敏雄の歩んだ道 心病む人びとへの地域医療を担って」日本における精神医療改革運動の歴史」藤澤敏雄『精神医療』（別冊）12-24
- 「戦前の東京市救助規定，救護法による精神病院入院」堀みゆき，深見恵子，柚山香世子，米田恵美『日本社会精神医学会雑誌』19(1)101
- 「戦前，精神障害者の治療を担っていた民間施設とは—4 岩瀧寺における精神病治療」三浦藍『精神看護』13(4)97-103
- 「モダンの構造，モダンの病理 フロイトの近代，近代の中でのフロイト 鉄道の身体」妙木浩之『日本病跡学雑誌』（79）16-27
- 「古代インドのダルマ（dharma）文献における精神病者」森口眞衣，大宮司信『臨床精神病理』31(1)48
- 【「精神医療の1968年」1968年革命素描」森山公夫『精神医療』（60）68-81
- 【「私にとっての統合失調症，もしくは統合失調症者とは」精神医学の200年と統合失調症の100年」山岸洋『福岡行動医学雑誌』16(1)33-34
- 「1800年前後のドイツ哲学と精神医学 司法精神鑑定の問題におけるKantとHoffbauer」山岸洋『精神医学史研究』14(1)53-54
- 「モダンの構造，モダンの病理 表現舞踊と精神医学 メアリー・ヴィグマンとハンス・プリンツホルン」山口庸子『日本病跡学雑誌』（79）62-69
- 「精神看護の歴史と展望 一施設における精神看護の歴史的記述の分析より」吉野由美子『東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集』（19）37-49

### 34 生物学史

- 「モデル生物の歴史と展望（最終回）コモンマームセットの歴史と展望 Biomedical Super Modelの期待」伊藤豊志雄『実験医学』28(18)3029-3032
- 「モデル生物の歴史と展望（第8回）バイオリソース・ラットの歴史と展望 福をもたらす実験動物」芹川忠夫『実験医学』28(1)103-107
- 「モデル生物の歴史と展望（第9回）バイオリソース・原核生物の歴史と展望 大腸菌と枯草菌の2大モデル微生物」仁木宏典『実験医学』28(4)610-613
- 「モデル生物の歴史と展望（第10回）バイオリソース・カイコの歴史と展望 日本人に身近な生物から独自の研究を」伴野豊『実験医学』28(8)1313-1316
- 「時間生物学の歴史 日本編」本間研一『時間生物学』16(1)48-51

### 35 西洋医学史

- 「ナチュロパシーの歴史とオーストラリアの医療システムにおけるナチュロパシー」Kobayashi Binsei『国際統合医学会誌』2(1)93-97
- 「空気医学史に関する覚書（Notes on the History of Pneumatic Medicine）（英語）」Kurimoto Soji『医譚』（108）5947-5945
- 「古典あれこれ 内分泌学の開拓者たち イン

- シュリンの発見」小川浩司『JOHNS』26(5) 786-789
- 「古典あれこれ 内分泌学の開拓者たち 下垂体後葉と視床下部ホルモン」小川浩司『JOHNS』26(7) 1060-1064
- 「古典あれこれ 内分泌学の開拓者たち 下垂体と前葉ホルモン」小川浩司『JOHNS』26(6) 932-935
- 「古典あれこれ 内分泌学の開拓者たち 甲状腺腫と甲状腺ホルモン」小川浩司『JOHNS』26(3) 512-516
- 「古典あれこれ 内分泌学の開拓者たち 副腎とホルモン」小川浩司『JOHNS』26(4) 646-649
- 「【ホスピス発祥のイギリスから日本へ 在宅・地域緩和ケアの近い将来】いかに現実的に私たちの生死と向き合うか イギリスの死をめぐる歴史に学ぶ」加藤恒夫『訪問看護と介護』15(11) 873-881
- 「英国医史 ヘルスサービス考(抄)」栗本宗治, 栗本洋子『医譚』(108) 6046-6047
- 「近代ギリシャにおける『ヒポクラテス全集』の継承」菅野幸子, 本田克也『日本医史学雑誌』56(1) 67-76
- 「イギリスの医療改革について」武内和久『心と社会』41(2) 83-88
- 「アロマセラピーのルーツ アラビア医学を検証する」千葉栄一『日本アロマセラピー学会誌』9(2) 36-37
- 「19世紀中頃のリバプールとナイチンゲール」徳永哲『日本赤十字九州国際看護大学 Intramural Research Report』(8) 31-41
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 骨の自然性・骨折」中島旻保『治療』92(1) 181-185
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 関節疾患・脱臼」中島旻保『治療』92(2) 377-381
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 婦人について(1)-(3)」中島旻保『治療』92(3-5) 523-527, 727-732, 1556-1562
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 子ども自然性」中島旻保『治療』92(6) 1727-1732
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 疾病と疾患(1-2)」中島旻保『治療』92(7-8) 1891-1896, 2049-2054
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 風(体内風気)について」中島旻保『治療』92(9) 2233-2237
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 七について」中島旻保『治療』92(10) 2433-2437
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 分利(病の峠)について」中島旻保『治療』92(11) 2593-2597
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 腺・肉質について」中島旻保『治療』92(12) 2801-2806
- 「古代ギリシャ時代における医療と哲学から今を問い直す」平田松吾『日本口腔科学会雑誌』59(2) 79
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第1話) 内分泌腺の概念の起源」深瀬泰旦『小児看護』33(1) 128-130
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第2話) 甲状腺腫とクレチン病 甲状腺機能との関係」深瀬泰旦『小児看護』33(2) 226-228
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第3話) 粘液水腫」深瀬泰旦『小児看護』33(3) 400-402
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第4, 5話) 甲状腺機能亢進症(1)-(2)」深瀬泰旦『小児看護』33(4, 6) 542-544, 820-822
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第6, 7話) 下垂体疾患の種々相(1)-(2)」深瀬泰旦『小児看護』33(7, 9) 954-956, 1296-1299
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第8, 9話) 視床下部と下垂体との関係(1)-(2)」深瀬泰旦『小児看護』33(10, 11) 1454-1457, 1580-1583
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第10話) ノーベル賞の決闘 2人の科学者の激烈な先陣争い」深瀬泰旦『小児看護』33(12) 1722-1724
- 「内分泌学の発展 人とその業績(第11話)(最終回) ついにノーベル賞を受賞する」深瀬泰旦『小児看護』33(13) 1854-1857
- 「医学史の旅 トルコ エディルネ」星和夫『日本病院会雑誌』57(1) 83-86



- 「医学史の旅 トルコ アナトリア地方」星和夫『日本病院会雑誌』57(2) 207-210
- 「医学史の旅 トルコ シヴァス」星和夫『日本病院会雑誌』57(3) 343-346
- 「医学史の旅 トルコ アマシア」星和夫『日本病院会雑誌』57(4) 491-494
- 「医学史の旅 トルコ シルクロードとアフィオン」星和夫『日本病院会雑誌』57(5) 627-630
- 「医学史の旅 トルコ エーゲ海地方（その1）-（その5）」星和夫『日本病院会雑誌』57(6-10) 743, 835-838, 967-970, 1067-1071, 1179-1182
- 「医学史の旅 トルコ トロイア」星和夫『日本病院会雑誌』57(11) 1311-1314
- 「医学史の旅 トルコ トロイア戦争の英雄たち」星和夫『日本病院会雑誌』57(12) 1443-1446
- 「健康をめぐる歴史パノラマ ベネディクト戒律」眞壁伍郎『総合看護』45(1) 71-84
- 「健康をめぐる歴史パノラマ カッシオドルス」眞壁伍郎『総合看護』45(2) 49-60
- 「健康をめぐる歴史パノラマ イシドルス」眞壁伍郎『総合看護』45(3) 65-75
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 僧院医学からの遺産」眞壁伍郎『総合看護』45(4) 29-39
- 「イスラム医学における「非自然要素」」矢口直英『日本医史学雑誌』56(1) 53-66
- 「メアリ・スチュアート治下における一六世紀スコットランド外科学 メアリ・スチュアートと医師たち（抄）」柳澤波香『医譚』(108) 6066-6067
- 「科学雑誌の誕生 17世紀ヨーロッパの科学革命と情報の流通」山口直比古『薬学図書館』55(2) 156-163
- 「炎症・免疫分野とノーベル賞 1982年生理学・医学賞 プロスタグランジンおよびそれにかかわる生理学的活性物質の発見」山本尚三『炎症と免疫』18(3) 290-294
- 「海外事情 ギリシアの医学・薬学の歴史とギリシアの薬局」吉岡ゆうこ『日本薬剤師会雑誌』62(5) 632-633
- 「古代社会における終末期医療の視点 インド，ギリシア，エジプトについて」吉次通泰『生命倫理』20(1) 64-75
- 38 地方史**
- 「新出史料の紹介 佐保神社文書「文久三年生野の変」関係文書「但州銀山」へ浪士乱妨之始末書（不可致他見）」『北播磨探史研究会報』(8) 1-3
- 「小城藩医の医学稽古」青木歳幸『佐賀大学地域学歴史文化研究センター』(4) 1-30
- 「松江藩における賀川流産科の移入とその影響について—鍼医から産科医をめざした小篠昌榮の学問・医学修行を通して—」梶谷光弘『古代文化研究』(18) 35-64
- 「沖縄県における患者航空機搬送の歴史と現状および将来のあり方の検討」亀山大介『社会医療法人仁愛会医報』11, 68
- 「和歌山における疱瘡神の動向と牛痘種痘法の展開」古西義麿『日本文化の中心と周縁』, 24-42
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道31 『解体新書』の扉絵を描いた小田野直武—秋田県仙北市角館町—」酒井シヅ『社会保険』(714) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道32 平塚神社と検校山川城官貞久，将軍侍医多紀一族の墓がある城官寺—東京都北区上中里1丁目—」酒井シヅ『社会保険』(715) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道33 疱瘡と源為朝伝説の島，八丈島—東京都八丈島八丈町—」酒井シヅ『社会保険』(716) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道34（最終回）明眼院—愛知県海部郡大治町—」酒井シヅ『社会保険』(717) 27
- 「戦後沖縄の保健・医療行政—その4 保健所の活動—（抄）」杉山章子『日本医史学雑誌』56(2) 170
- 「水戸藩の医学と医療（抄）」鈴木暎一『日本医史学雑誌』56(2) 160
- 「幕末京都における医療」田端泰子『CHRONOS』(32)
- 「治癒神としてのカナヤマサマー八丈島での事例から—（抄）」土屋久『日本医史学雑誌』56(2) 193

- 「江戸時代小倉藩城下に居住した人々に見られる高度鉛汚染状況の階層差及び性差」中島民治『バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会講演論文集』23, 151-153
- 「江戸後期多摩地域における儒学と医学」名倉正博『防衛医科大学校進学課程研究紀要』(33) 125-91
- 「北播磨の知られざる蘭方医たち」西山勝仁『北播磨探史研究会報』(8) 3-5
- 「岩手県金ヶ崎町(城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区)より輩出せる明治女医2名」福岡正和『日本医史学雑誌』56(3) 415-426
- 「北播磨史を行く(第五回)一三木の種痘医 岡村高四郎のこと一」別所三樹夫『北播磨探史研究会報』(8) 7-8
- 「広島黒い雨 地域におけるローカル・フォールアウトの実態解明 広島の“黒い雨”地域のフォールアウト研究の歴史と目的」星正治『日本放射線影響学会大会講演要旨集』53, 62
- 「新聞にみる明治期北海道の売薬広告(Ⅲ) 明治35年~45年の売薬広告(抄)」本間克明『薬史学雑誌』45(2) 145
- 「越中国高岡町の累代の医家 松田三知家の事蹟について一『松田家系譜』(上)」正橋剛二『北陸医史』(32) 2-19
- 「近年の北海道に於ける明治女医史研究と新知見(抄)」宮下舜一『日本医史学雑誌』56(2) 262
- 「日向薬事始め(その7) 延岡における医学所「明道館」の設立と藩士教育」山本郁男, 井本真澄, 宇佐見則行, 岸信行『九州保健福祉大学研究紀要』(11) 169-175
- 39 治療史**
- 「熱性けいれんの治療 歴史的な見方, 最近の見解, および今後の方向性 (Febrile Seizures and Related Conditions Treatment of febrile seizures: Historical perspective, current opinions, and potential future directions) (英語)」Lux Andrew L. 『Brain & Development』32(1) 42-50
- 「ニューロフィードバック 歴史, 研究, 応用 (Neurofeedback: History, Research and Applications) (英語)」Van Deusen Adrian Machado 『バイオフィードバック研究』37(2) 116
- 「治療の歴史 転倒予防法」泉田良一『治療学』44(7) 823-827
- 「治療の歴史 アンジオテンシン変換酵素阻害薬の腎保護作用」伊藤貞嘉『治療学』44(3) 357-359
- 「【脳深部刺激療法】脳深部刺激療法の歴史と原理」伊東秀文『神経内科』73(5) 435-442
- 「治療の歴史 肥満の薬物療法」井上修二, 塩田清二, 影山晴秋『治療学』44(4) 502-508
- 「アメリカ合衆国のサブスタンス・アビューズ チャイルド・マルトリートメント問題の文献検討による研究動向と背景」上野善子, 金城八津子, 植村直子, 畑下博世『滋賀医科大学看護学ジャーナル』8(1) 18-21
- 「治療の歴史 特発性肺線維症臨床試験のエビデンス形成」大河内眞也, 貫和敏博『治療学』44(5) 612-616
- 「治療の歴史 抗IL-6受容体抗体トシリズマブ」大杉義征『治療学』44(2) 242-244
- 「結核医療の歴史的成果と近年の後退 仙台赤十字病院結核病棟閉鎖にあたって」岡山博『仙台赤十字病院医学雑誌』19(1) 7-19
- 「レニン・アンジオテンシン系(RAS)の歴史と新展開 from bench to bed 臨床医にとって, なぜ基礎研究が大切なのか」香美祥二『日本小児腎臓病学会雑誌』23(2) 179-182
- 「【急性血液浄化療法の新しい潮流】Mediator modulationとしての血液浄化療法の歴史」片山浩『ICUとCCU』34(2) 95-103
- 「治療の歴史 抗リウマチ薬の開発」川合眞一『治療学』44(10) 1166-1170
- 「理学療法基礎講座 地域の伝統文化と医療技術(その2) ホメオパシーの正体」木村朗『理療』40(3) 3-6
- 「ヨーガ療法の歴史と諸技法紹介」木村慧心『日本統合医療学会誌』3(2) 32
- 「【鉄過剰症 その病態と治療】瀉血療法」木村文昭, 谷本光音『日本医師会雑誌』139(2) 334-337
- 「治療の歴史 肺高血圧症」国枝武義『治療学』

- 44 (8) 940-948
- 「肺高血圧症の治療研究の歴史と進歩」国枝武義『化学療法研究所紀要』40, 15-25
- 「気胸治療の変遷と将来」栗原正利『日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌』10 (1) 83
- 「化学療法の歴史を語る 細菌 biofilm と抗菌療法」小林宏行『日本化学療法学会雑誌』58 (Suppl. A) 85
- 「科学史から見た脳死臓器移植法改正の考察」小柳仁『Organ Biology』17 (1) 89-94
- 「痛みを知る 痛みからの解放の歴史 戦争がもたらした痛みを巡って」小山なつ『Practice of Pain Management』1 (1) 22-25
- 「化学療法の歴史を語る インフルエンザとブドウ球菌性膿胸」紺野昌俊『日本化学療法学会雑誌』58 (Suppl. A) 84
- 「化学療法の歴史を語る in vitro と in vivo のはざままで」五島瑳智子『日本化学療法学会雑誌』58 (Suppl. A) 82
- 「治療の歴史 急性冠症候群に対する抗血栓療法」後藤信哉『治療学』44 (6) 709-712
- 「【痔核診療のすべて】痔核治療の歴史の変遷」三枝純一，三枝直人，三枝純郎『日本大腸肛門病学会雑誌』63 (10) 813-818
- 「血液浄化の進むべき道 血液浄化の歴史と未来 温故知新」酒井清孝『人工臓器』39 (2) 41
- 「人工酸素運搬体の臨床応用 ヘモグロビン小胞体の開発の歴史と現状」酒井宏水『人工血液』18 (2) 58
- 「治療の歴史 慢性骨髄性白血病治療の変遷」坂巻壽『治療学』44 (12) 1435-1439
- 「治療の歴史 糖尿病の運動療法」佐藤祐造『治療学』44 (1) 125-129
- 「【緩和医療最前線】がん治療医に必要な緩和ケア概論 緩和ケアの歴史と基本概念」志真泰夫『癌と化学療法』37 (10) 1849-1853
- 「緩和医療学，精神腫瘍学を基礎から学ぶ 緩和医療学 緩和ケア概論 緩和ケアの歴史と基本概念」志真泰夫『日本癌治療学会誌』45 (3) 1363-1368
- 「緩和医療学の15年 これまでの歩み，そして，これからなにを目指すか」志真泰夫『日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集』15, 88
- 「不整脈の非薬物療法の進歩 不整脈の非薬物治療の歴史と今後の展開」庄田守男，志賀剛，萩原誠久『日本心臓病学会誌』5 (Suppl.1) 122
- 「いぼ治療の今昔物語（上，下）」白井利彦『漢方研究』(467-468) 22-27, 22-29
- 「静脈栄養40年の回顧と最近の話題をめぐって」城谷典保『静脈経腸栄養』25 (1) 5-11
- 「血液の安全対策／歴史と展望」十字猛夫『血液事業』33 (2) 121
- 「音楽家が奏でるアメリカの音楽療法（第2回）アメリカでの音楽療法の歴史」菅原英介，山川百合子『地域リハビリテーション』5 (8) 738-740
- 「インクレチン研究の歴史と臨床における治療応用」清野裕，矢部大介，菅原健二，北本友佳，桑田仁司，杉崎和，藤原周一，渡邊好胤，表孝徳，黒瀬健『関西電力病院医学雑誌』(37, 38, 39, 40, 41, 42 合併号) 1-7
- 「【分子標的薬治療 癌から他疾患までの治癒をめざして】分子標的薬治療の歴史」曾根三郎，大塚憲司，飛梅亮，多田浩也『日本臨床』68 (10) 1787-1795
- 「臓器移植 腎臓移植の歩み」園田孝夫『天理医学紀要』13 (1) 1-26
- 「水による病気治療に関する説話について」高山真一郎『医譚』(109) 6193-6197
- 「作業療法の現代史・1976～1980」田島明子『保健医療社会学論集』21 (特別) 117
- 「【これがNOTESだ】NOTES その歴史と日本の現状」田尻久雄『消化器内視鏡』22 (10) 1591-1595
- 「【末梢神経の再生】末梢神経欠損に対する tubulization の歴史と展望」多田薫，池田和夫『末梢神経』21 (1) 11-18
- 「【臓器移植 脳死下における臓器移植を考える】我が国における臓器移植の歴史」田中紘一，足立峻吾，菊地耕三，山田貴子『日本臨床』68 (12) 2164-2170
- 「シーボルトが治療に用いた精油 我が国のメ

- ディカル・アロマセラピーの原点」千葉栄一『Aroma Research』11(4) 328-332
- 「治療学の来し方・行く末」寺本民生, 岩本愛吉, 貫和敏博, 菅野健太郎, 山本一彦, 豊岡照彦, 島田和幸『治療学』44(12) 1445-1454
- 「慢性肝炎の治療今昔 治療薬を中心に」戸田剛太郎『炎症と免疫』18(3) 308-310
- 「乳癌の外科的ホルモン療法の歴史とその果たした役割 温故知新」富永健『乳癌の臨床』25(4) 377-393
- 「【アミノ酸研究 基礎と臨床が奏でるシンフォニー】外科代謝栄養学会におけるアミノ酸研究の歴史 アミノ酸の引き算から得られたもの」土井秀之『外科と代謝・栄養』44(1) 59-63
- 「我が国の胃癌補助化学療法の歴史に学ぶこと」中島聰總『日本胃癌学会総会記事』82, 110
- 「治療の歴史 アディポネクチン作用低下を是正する治療法」中山亮, 山内敏正, 門脇孝『治療学』44(11) 1302-1307
- 「心肺蘇生法の歴史と最近の進歩(その6) CPRと国際ガイドライン」野々木宏『BIO Clinica』25(3) 269-271
- 「乳癌のホルモン療法の歴史 内科面から」野村雍夫『乳癌の臨床』25(4) 395-401
- 「門脈系ステント TIPS (Transjugular Intrahepatic Portosystemic Shunt) の歴史」本田実『IVR: Interventional Radiology』25(4) 526
- 「食道癌の治療法の変遷と治療成績」幕内博康『日本気管食道科学会会報』61(2) 57-62
- 「治療の歴史 ウイルス肝炎における肝庇護療法」松崎靖司, 池上正, 齋藤吉史, 本多彰『治療学』44(9) 1051-1055
- 「日本における西洋医学の移入と刺絡, そして輸血へ」松田利夫, Schmidt Paul J.『刺絡: 日本刺絡学会誌』13(1) 20-30
- 「消化性潰瘍治療の変遷」水島和雄, 浅香正博『日本医事新報』(4519) 34-41
- 「近世ヨーロッパにおける鍼灸について」ミヒェル・ヴォルガング『伝統鍼灸』37(2) 100
- 「人工呼吸, 体外式心肺補助法の揺籃期をさまよって今」森岡亨『人工呼吸』27(1) 3-10
- #### 40 伝記
- 「C・J・マクシモーヴィチと黎明期日本人植物学者の交流(抄)」竹中里紗『医譚』(108) 6065-6066
- 「医者も知りたい【医者のはなし】 打診法の創始者 アウエンブルガー (1722-1809)」木村専太郎『臨床整形外科』45(2) 172-175
- 「青木周蔵の渡独前の修学歴(1) 一寺子屋での学習時代一」森川潤『広島修大論集』51(1) 129-169
- 「青木周蔵の渡独前の修学歴(2) 一漢学の修業時代一」森川潤『広島修大論集』50(2) 57-85
- 「クレーター・アサダと江戸の天文科学一大坂の医師 麻田剛立とその時代一第1回 麻田剛立という男」鹿毛敏夫『月刊保団連』(1035) 58-61
- 「クレーター・アサダと江戸の天文科学一大坂の医師 麻田剛立とその時代一第2回 江戸時代の月面観測」鹿毛敏夫『月刊保団連』(1038) 59-62
- 「クレーター・アサダと江戸の天文科学一大坂の医師 麻田剛立とその時代一第3回 麻田剛立の天体観測地」鹿毛敏夫『月刊保団連』(1039) 51-54
- 「クレーター・アサダと江戸の天文科学一大坂の医師 麻田剛立とその時代一第4回 良好な観測地を求めて」鹿毛敏夫『月刊保団連』(1041) 49-52
- 「クレーター・アサダと江戸の天文科学一大坂の医師 麻田剛立とその時代一第5回 民衆に公開された天体観測活動」鹿毛敏夫『月刊保団連』(1045) 53-56
- 「浅田宗伯門人, 藤田謙造の学統(抄)」渡部浩二, 小曾戸洋, 花輪壽彦『日本医史学雑誌』56(2) 208
- 「歴史のなかのアポセカリ(三) 「ドクター」アポセカリ ジョウゼフ・アダムズ(抄)」柳澤波香『薬史学雑誌』45(2) 150
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 12 ニールス・イェルネ」工藤秀機『大塚薬報』(653) 37-39
- 「石塚左玄の功績と現代への警鐘(2)」岩佐勢市『総合医学』33(2) 4-9

- 「郷土熊本の偉人・一井正典（いちのいまさつね）への地域市民らの認知度について（抄）」松本晋一，渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』28（4）274-275
- 「井上仲子と筋骨矯正術（第1回）」高木一行『手技療法』18（5）352-355
- 「内村祐之の「ロンブローまで」病跡学者としての側面」高橋正雄『聖マリアンナ医学研究誌』10，48-51
- 「“養育院”成立における第5代東京府知事・大久保一翁の役割（抄）」稲松孝思『日本医史学雑誌』56（2）205
- 「大谷光瑞と香・薬物（抄）」猪飼祥夫『医譚』（108）6048-6050
- 「大塚恭男先生の思い出」岡田靖雄『日本医史学雑誌』56（3）449-453
- 「大塚恭男先生の人と仕事」小曾戸洋『日本医史学雑誌』56（3）441-448
- 「下関開業時代における岡研介の事績及び寄寓背景に関する考察—本州西端の海港に見る文政末蘭学医の展開—」亀田一邦『日本医史学雑誌』56（4）485-500
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵と南方仁 漫画家村上もとインタビュー」原田彰子『大阪春秋』（139）24-29
- 「緒方洪庵生誕200年 扶氏医戒之略」公裁（緒方洪庵）『大阪春秋』（139）14-15
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵の生涯—混迷の時代を生きる—」梅溪昇『大阪春秋』（139）16-23
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵の業績 医史学の観点から」酒井シヅ『大阪春秋』（139）30-31
- 「緒方洪庵生誕200年 適塾のオランダ語教育」鳥井裕美子『大阪春秋』（139）32-35
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵と大坂の除痘館—除痘館を支えたのはだれ？—」古西義磨『大阪春秋』（139）36-39
- 「緒方洪庵生誕200年 天然痘（痘瘡）と除痘館 関係略年表」除痘館記念資料室パンフレット『大阪春秋』（139）40
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵とその師 大坂の蘭学者・中天游」吉田忠『大阪春秋』（139）41-45
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵と福沢諭吉」大塚彰『大阪春秋』（139）46-51
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵とその弟子 中津藩出身の蘭学者田代基徳と藤野玄洋」川寫真人『大阪春秋』（139）52-59
- 「緒方洪庵生誕200年 洪庵門下にこんな人が居た—「適塾門下生調査資料」から—」宇田正『大阪春秋』（139）60-63
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵と愛妻・八重」中田雅博，中田佳子『大阪春秋』（139）64-65
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵の里 備中足守 洪庵先生で，まちづくり・まちおこし—生誕二百年祭も準備中—」川田敏幸『大阪春秋』（139）66-69
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵ゆかりの地を訪ねる」秋山夏虫『大阪春秋』（139）76
- 「緒方洪庵生誕200年 緒方洪庵年譜」大阪春秋編集部『大阪春秋』（139）76-79
- 「緒方洪庵生誕200年に寄せて」緒方惟之『除痘館記念資料室だより』（2）1
- 「緒方洪庵と足守（抄）」小田皓二『医譚』（108）6054-6055
- 「緒方洪庵と足守除痘館」浅井允晶『除痘館記念資料室だより』（2）3-4
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 日本編 岡田和一郎」加我君孝『JOHNS』26（8）1198-1201
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 日本編 小此木信六郎」八木聡明『JOHNS』26（11）1946-1950
- 「田中彌性園収蔵小野蘭山書簡およびその学統について（抄）」田中祐尾『日本医史学雑誌』56（2）238
- 「小野蘭山ときのこ—冬虫夏草を軸にして—（抄）」奥澤康正『医譚』（108）6062-6064
- 「薬学教育の基礎を築いた信州松代の恩田重信 私財を投げ打ち，明治薬科大学を創立した」恩田乾次郎『薬事新報』（2650）63-66
- 「江戸の人生名人・具原益軒 未公開資料を読み

- 解く 第1回 益軒の旅記録『行装記』の世界  
(1)-(2)」山崎光夫『大塚葉報』(657-658) 36-40, 30-33
- 「香川修庵と『一本堂行余医言』」杉浦守邦『医譚』(109) 6120-6145
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科のパイオニア 日本編 賀古鶴所」木村繁『JOHNS』26(9) 1573-1577
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 日本編 金杉英五郎」森山寛『JOHNS』26(10) 1703-1707
- 「大脳皮質局在論の先駆者フランツ・ヨゼフ・ガル生誕250年展(1)」濱中淑彦『名古屋医報』(1329-1330) 34, 23
- 「青い血のカルテ(SERIES 73) カルダーノと病的賭博」早川智『産科と婦人科』77(5) 607-609
- 「川上澄生にみる文明開化への憶憶(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28(4) 303-304
- 「お玉ヶ池種痘所に拝領地を提供した川路聖謨の底力」柏木政伸『藤沢市内科医学会雑誌』(22) 35-37
- 「蘭学者川本幸民一郷土の異才, 日本化学の開拓者一」芝哲夫『歴史と神戸』(281)
- 「木内政章(原南陽・小野蘭山門人)の事蹟と学績(抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』56(2) 237
- 「青い血のカルテ(SERIES 78) 菊慈童と脱重水素水」早川智『産科と婦人科』77(10) 1226-1228
- 「木村兼葭堂の和歌山来訪について」近藤壮『和歌山市立博物館研究紀要』(25)
- 「木村孝蔵の外科講義録」寺畑喜朔『北陸医史』(32) 47-50
- 「青い血のカルテ(SERIES 72) キャプテン・クックと壊血病」早川智『産科と婦人科』77(4) 454-456
- 「福島県ゆかりの医人達 久保猪之吉(1874-1939)」茂田士郎『福島医学雑誌』60(3) 102-103
- 「青い血のカルテ(SERIES 70) 幸帽児クリスチナ女王」早川智『産科と婦人科』77(2) 216-218
- 「クルシウス(1526-1609)の生涯とオーストリア時代(1-2)」濱中淑彦『名古屋医報』(1341-1342) 40, 39
- 「漢方家小曾戸丈夫の足跡」塩原仁子, 木村武彦『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 260
- 「ゴッホの病跡について一付・絵葉書と切手の自画像一(抄)」寺畑喜朔『医譚』(108) 6056-6057
- 「シーボルト・プラント400年 シーボルトが世界に広めた日本の植物」辻誠一郎『風媒花』(23) 24-25
- 「礎を築いた人(第6回) 潮谷総一郎」蟻塚昌克『月刊福祉』93(12) 68-69
- 「塩田広重学長と『磯部検三日記』(抄)」殿崎正明, 唐澤信安, 志村俊郎『日本医史学雑誌』56(2) 257
- 「司馬凌海一日本人執刀最初の病理解剖(抄)」高橋昭『日本医史学雑誌』56(2) 251
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 13 フランソワ・ジャコブ」工藤秀機『大塚葉報』(654) 35-37
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 16 アンドリュウ・シャリー」工藤秀機『大塚葉報』(657) 33-35
- 「青い血のカルテ(SERIES 74) ジョージ5世の船酔いとホメオパシー」早川智『産科と婦人科』77(6) 721-724
- 「1927年のAlice C. St. Johnのレター」菱沼典子『日本看護歴史学会誌』(23) 16-20
- 「ハンセン病医学者・菅井竹吉の履歴, 特に東京市養育院時代の事績について(抄)」平井雄一郎『日本医史学雑誌』56(2) 210
- 「須藤憲三(すとうけんぞう)伝」山本博『北陸医史』(32) 69-71
- 「Esmond E. Snell ビタミンBとコファクター研究の先駆者(Esmond E. Snell: the pathfinder of B vitamins and cofactors)(英語)」Hayashi Hideyuki, Tanase Sumio, Yagi Toshiharu『The Journal of Biochemistry』147(4) 451-457
- 「医者も知りたい【医者のはなし】(第40回) 最後の蘭方医・関寛斎(1830-1912)(その2)」木村専太郎『臨床整形外科』45(6) 544-548
- 「医者も知りたい【医者のはなし】 硬骨の蘭方

- 医・関寛斎（1830-1912）（その1）木村専太郎『臨床整形外科』46（4）338-341
- 「ソヴァージュ（一七〇六～一七六七）の疾病分類学」坂井建雄『医譚』（108）6005-6019
- 「古典あれこれ 顔の表情小話 ダーウィン（第8-9部）」飯沼壽孝『JOHNS』26（1-2）110-116, 250-256
- 「高木兼寛がたどり着いた宗教 神道・禊の行」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』125（4）129-141
- 「医学史 高橋琢也と学生達（疾風怒涛の物語）（2）」友田あき夫『東京医科大学雑誌』68（1）26-44
- 「高橋琢也と学生達（疾風怒涛の物語）（3）」友田あき夫『東京医科大学雑誌』68（2）167-191
- 「礎を築いた人（第4回）高橋直作 蟻塚昌克『月刊福祉』93（10）66-67
- 「筑後小郡に生まれ、赤十字精神の基礎を創った大医 高松凌雲（1837-1916）」小林晶『整形外科と災害外科』59（Suppl.1）29
- 「インターネットでみる『呼吸器』 高峰譲吉とアドレナリンの発見」諏訪邦夫『呼吸』29（8）844-847
- 「近世後期の江戸住人滝沢興邦の家族と病一（病む家）にみる病の問題性一」中山学『法政史論』37
- 「心臓刺激伝導系の構造と機能 田原の原著からみる知られざる事実」島田達生『心電図』30（Suppl.4）S-4-138
- 「心臓刺激伝導系の構造と機能 田原淳と心電図とペースメーカー」須磨幸蔵『心電図』30（Suppl.4）S-4-139
- 「青い血のカルテ（SERIES 69） ナイチンゲールと円グラフ」早川智『産科と婦人科』77（1）92-94
- 「長岡半太郎遺墨ロマン」福井康子『医譚』（108）5973-5975
- 「長岡半太郎遺墨ロマン一遺墨出現（抄）」福井康子『医譚』（108）6052-6053
- 「長岡半太郎の雅号「楽水」について」福井康子『医譚』（108）5976-5980
- 「長岡半太郎扁額「環翠荘」について」福井康子『医譚』（109）6206-6209
- 「『中神氏独語』による中神琴溪の伝記再考」長野仁『日本東洋医学雑誌』61（別冊）331
- 「中島友玄の京都遊学日記（四）」中島洋一『医譚』（108）5962-5972
- 「医人群像20 永富独嘯庵1732-1766」秋葉哲生『漢方医学』34（2）175
- 「青い血のカルテ（SERIES 75） 美女は長生き一ナポレオン3世妃ウージェニー・ド・モンテール」早川智『産科と婦人科』77（7）840-842
- 「西塚泰美 蛋白質キナーゼCの父（Yasutomi Nishizuka: Father of protein kinase C）（英語）」Nakamura Shun-ichi, Yamamura Hirohei『The Journal of Biochemistry』148（2）125-130
- 「野口英世の済生学舎時代の足跡に関する教育と学生の反応」殿崎正明，志村俊郎，大国寿，唐沢信安，日本医科大学教育推進室医史学教育研究会『医学教育』41（Suppl.）129
- 「橋田邦彦研究一ある「葬られた思想家」の生涯と思想一」勝井恵子『日本医史学雑誌』56（4）527-538
- 「『医業』とは別のいとなみで一橋田邦彦の「医行」論一（抄）」勝井恵子『日本医史学雑誌』56（2）209
- 「橋田邦彦『空月集』（昭和十一年）にみる学生へのことば（抄）」小曾戸明子『医譚』（108）6067-6068
- 「橋田邦彦における「医」の三要素」勝井恵子『日本医史学雑誌』56（4）473-483
- 「橋本正巳と海軍および衛生行政史研究」後藤幸一『医学史研究』（93）43-47
- 「芭蕉と陰囊水腫一芭蕉はなぜ丹羽にバショウを植えたのか一（抄）」杉浦守邦『医譚』（108）6047-6048
- 「秦佐八郎の年賀状」山岸利明『福井県医師会だより』（585）30-31
- 「福島県ゆかりの医人達 服部けさ（1884-1924）」茂田士郎『福島医学雑誌』60（4）215-216
- 「細胞診の父パパニコロウ先生の生涯と功績」宮

- 尾行雄『岡山赤十字病院医学雑誌』21, 13-19
- 「アルブレヒト・フォン・ハラー生誕300年(1-4)」濱中淑彦『名古屋医報』(1328, 1335, 1337-1338) 25, 34, 24, 36
- 「青い血のカルテ(SERIES 71) 火星人襲来とパンスペルミア」早川智『産科と婦人科』77(3) 335-337
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち 15 フレデリック・バンティング」工藤秀機『大塚薬報』(656) 31-33
- 「藤田謙造における医学観 橋田邦彦の医学思想形成史研究のために」勝井恵子『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 256
- 「東京薬舗学校創始者・藤田正方(抄)」川瀬清, 宮本法子, 小倉豊『薬史学雑誌』45(2) 155
- 「ヴンダーリヒ(一八一五~一八七七)の臨床医学」坂井建雄『医譚』(109) 6158-6182
- 「Heinrich Ewald Hering(1866~1948)と圧受容器反射の発見」田村直俊『自律神経』47(2) 173
- 「動脈圧受容器反射の発見 Heinrich Ewald Hering(1866~1948)」田村直俊『自律神経』47(2) 126-131
- 「ベルツ博士の北海道歴訪(抄)」山上勝久『医譚』(108) 6053-6054
- 「青い血のカルテ(SERIES 79) ポンパドゥール夫人の月経性片頭痛」早川智『産科と婦人科』77(11) 1352-1354
- 「京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績一第4報 医師および市民への講演活動一」廣谷速人『日本医史学雑誌』56(1) 25-38
- 「京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績一第5報 松岡教授の教室員と受け入れ内地留学生一」廣谷速人『日本医史学雑誌』56(3) 351-366
- 「青い血のカルテ(SERIES 80) 聖母マリアと妊娠高血圧症候群」早川智『産科と婦人科』77(12) 1492-1494
- 「初期紅毛流外科と儒医向井元升について」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』56(3) 367-385
- 「エガス・モニスとノーベル賞(後編)」南光進一郎『帝京医学雑誌』33(2) 67-74
- 「鷗外が120年前ドイツから日本へ紹介した環境医学の過去・現在・未来」森千里『日本旅行医学学会講演会抄録集』9, 60-61
- 「森鷗外と医学留学生たち 第24回 日本近代医学の源流 森鷗外と長井長義」山崎光夫『大塚薬報』(652) 44-47
- 「森鷗外と医学留学生たち 第25回 日本近代医学の源流 森鷗外と青山胤通」山崎光夫『大塚薬報』(653) 32-35
- 「森鷗外と医学留学生たち 第26回 日本近代医学の源流 森鷗外と賀古鶴所(上)」山崎光夫『大塚薬報』(654) 30-33
- 「森鷗外と医学留学生たち 第27回 日本近代医学の源流 森鷗外と賀古鶴所(中)」山崎光夫『大塚薬報』(655) 30-33
- 「森鷗外と医学留学生たち 第28回(終回) 日本近代医学の源流 森鷗外と賀古鶴所(下)」山崎光夫『大塚薬報』(656) 34-37
- 「日本人論から見た, 対人恐怖症と森田正馬」里村淳『日本外来臨床精神医学』8(1) 5-17
- 「森林太郎(森鷗外)と解剖学講義について(抄)」島田和幸『日本医史学雑誌』56(2) 252
- 「ワグナー・ヤウレックとマラリア発熱療法(その1)」南光進一郎『帝京医学雑誌』33(6) 295-310
- 「ヤスパースの思索の態度と, その目指すもの」岡田聡『精神医学史研究』14(1) 53
- 「日本歯科医史学会理事長谷津三雄先生の学位論文及び指導論文について(抄)」工藤逸郎, 三宅正彦, 見崎徹, 小室歳信, 渋谷鉦他3名『日本歯科医史学会々誌』28(4) 298-299
- 「谷津三雄著「麻醉学 改訂2版-1959-」について(抄)」山口秀紀, 石橋肇, 渋谷鉦, 工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』28(4) 300-301
- 「「臨床生薬学」の歴史~創始者, 山口広次の果たした功績」牧野利明『薬史学雑誌』45(2) 126-129
- 「常陸の郷医・山田甫庵の事蹟一「百腹図説」の成立と伝播に関する考察一(抄)」長野仁『日本医史学雑誌』56(2) 195



- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち  
ロサリン・ヤロー」工藤秀機『大塚葉報』（659）  
31-33
- 「湯本求真と『皇漢医学』」小曾戸洋『漢方と診療』  
1 (2) 116-117
- 「吉田有秋の継父田三畝に関する考察 長崎・久  
留米・下関での足跡を中心として」亀田一邦  
『医譚』（109）6146-6157
- 「八代将軍吉宗の脳卒中とそのリハビリ」杉浦守  
邦『啓迪』（28）1-12
- 「膠原病を克服した人々 ピエール・オーギュス  
ト・ルノワール（1841-1919年）」酒井シヅ『RA  
Trends』1 (1) 12
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち  
11 コンラート・ローレンツ」工藤秀機『大塚  
葉報』（652）49-51
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち  
14 セルマン・ワクスマン」工藤秀機『大塚葉  
報』（655）35-37
- 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究者たち  
17 ジェームズ・ワトソン」工藤秀機『大塚葉  
報』（658）35-37
- 41 伝記（双）**
- 「『北征日乗』にみる北越殖民社の医師達（抄）」  
菊田道彦，島田保久『薬史学雑誌』45 (2) 141
- 「芥川龍之介のフロイト受容と斎藤茂吉」新田篤  
『精神医学史研究』14 (1) 51-52
- 「二つのアスペルガー症候群 成立の歴史を辿り  
直す アーリア系小児神経科医ハンス・アスペ  
ルガーとユダヤ系心電図心音図専門医レオ・カ  
ナー」石川元『発達』31 (121) 113-118
- 「磯部檢三と加藤時次郎について（抄）」唐澤信安，  
志村俊郎，殿崎正明『日本医史学雑誌』56 (2)  
256
- 「二つのアスペルガー症候群 成立の歴史を辿り  
直す 児童神経科医スーラ・ウォルフと疫学研  
究医ローナ・ウィング」石川元『発達』31 (122)  
107-112
- 「緒方洪庵と緒方郁藏」古西義磨『除痘館記念資  
料室だより』（2）3
- 「緒方洪庵と河田雄禎」芝哲夫『除痘館記念資料  
室だより』（1）2
- 「楠本イネと石神医師の写真—海軍軍医の祖・石  
神良策との写真—」太田妙子『医譚』（108）  
5953-5961
- 「人・土地・業績 Ruedin, Strohmayerと民族衛生  
学 Holocaustとドイツ神経学」田村直俊『神  
経内科』73 (3) 314-318
- 「人・土地・業績 Ruedin, Strohmayerと民族衛生  
学 Wilhelm Strohmayer (1874-1936)」田村直俊  
『神経内科』73 (2) 208-213
- 「人・土地・業績 Ruedin, Strohmayerと民族衛生  
学 Ernst Ruedin (1874-1952)」田村直俊『神  
経内科』73 (1) 91-96
- 「宋大仁が三木栄にあてた1通の手紙で得た励ま  
し（抄）」郭秀梅『日本医史学雑誌』56 (2) 186
- 「人・土地・業績 Tretiakoff, Marinescuと脳炎後  
パーキンソニズム Konstantin Tretiakoff (1892-  
1958)」田村直俊，山元敏正，石澤圭介『神  
経内科』72 (3) 326-331
- 「人・土地・業績 Tretiakoff, Marinescuと脳炎後  
パーキンソニズム Gheorghe Marinescu (1863-  
1938)」田村直俊，山元敏正，石澤圭介『神  
経内科』72 (4) 435-440
- 「羽仁五郎さん，川上武さんと」岡田靖雄『医学  
史研究』(93) 1-4
- 「廣田弘毅と星一の交遊」三澤美和『薬史学雑誌』  
45 (1) 59-66
- 「Friedrich Heinrich LEWY (1885-1950) と Karl Ludwig  
BONHOEFFER (1868-1948)，二人に見た確執  
神経（精神）医学史断章」池村義明『精神医学  
史研究』14 (1) 52
- 「森田正馬の生理学的研究の指導者・榊保三郎と，  
その留学先・ベルリン大学精神科付・森田正馬  
の生活拠点としての根岸病院」澤野啓一『日本  
森田療法学会雑誌』21 (1) 73
- 「吉益東洞“万病一毒説”から吉益南涯“気血水  
理論”への展開（抄）」溝口加奈子，鈴木達彦  
『薬史学雑誌』45 (2) 166
- 「日向薬事始め（その10）日向出身の，頼山陽  
および山脇東洋門下生とその周辺」山本郁男，

- 宇佐見則行, 程炳鈞, 岸信行『薬史学雑誌』45(2) 149
- 「動脈圧受容器反射の発見 Carl Ludwig (1816~95) と Elias Cyon (1842~1912)」田村直俊『自律神経』47(2) 120-125
- 42 伝染病史・防疫史・感染症史**
- 「疫病と古代国家一國分寺の展開過程を中心に一」有富純也『歴史評論』(728) 33-45
- 「超過死亡にみる戦前期日本(旧植民地を含む)における“スペインかぜ”世界流行の影響(抄)」逢見憲一, 丸井英二『日本医史学雑誌』56(2) 175
- 「近代日本の「防疫の制度化」においてコレラ流行は「決定実験」となりえたか?(抄)」大山卓昭『日本医史学雑誌』56(2) 206
- 「明治前期の伝染病と地域社会の対応」高久嶺之介『CHRONOS』(32)
- 「天然痘で読み解くかちかち山(抄)」竹原直道『日本歯科医史学会々誌』28(4) 273
- 「戦後占領期における性感染症—GHQ/SCAP文書にみる梅毒の流行—(抄)」田中誠二, 杉田聡, 安藤敬子, 丸井英二『日本医史学雑誌』56(2) 177
- 「戦後占領期における性感染症 GHQ/SCAP文書にみる「淋病」の流行」田中誠二, 杉田聡, 安藤敬子, 丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』69, 444
- 「奈良時代前後における疫病流行の研究『続日本紀』に見る疫病関連記事を中心に」董科『東アジア文化交渉研究』3, 489-509
- 「九~十世紀日本におけるインフルエンザ流行の基礎研究—世界最古のインフルエンザ流行記録について—」董科『古代文化』62(3) 376-389
- 「「スペイン風邪」と但馬鑿之丞の日記」中澤恵子『佐倉市史研究』(23)
- 「日本におけるヒトパピローマウイルス研究の歴史」新村真人『Visual Dermatology』9(3) 276-279
- 「『断毒論』の研究(その1, 2)(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28(4) 305-306, 307
- 「【パンデミックインフルエンザ 最新の知見と今後の展望】パンデミックインフルエンザの歴史」松本慶蔵『日本臨床』68(9) 1595-1601
- 「インフルエンザ流行史(抄)」母里啓子『神奈川医学会雑誌』37(2) 303
- 「日本の結核史における第二次世界大戦とBCG研究について(抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』56(2) 176
- 43 東洋医学史・伝統医学史**
- 「『郷薬集成方』から『東医宝鑑』にみられる朝鮮半島医学の変遷—本草を中心として—(抄)」朴智世『日本医史学雑誌』56(2) 182
- 「『東医宝鑑』湯液篇の本草分類に対する研究(抄)」呉在根, 金容辰『日本医史学雑誌』56(2) 181
- 「『脾胃論』に記載された述語の分類に関する研究(抄)」李丙旭, 金明姫, 金恩瑕『日本医史学雑誌』56(2) 187
- 「【孟河医学 現代中医学のルーツ】孟河医派「養血きょ風・化痰通絡」による偏たん治療」徐迪華, 徐剣秋, 徐麗敏『中医臨床』31(3) 326-329
- 「20世紀初期韓医学の診療録に見る傷寒診療例の考察(抄)」車雄碩『日本医史学雑誌』56(2) 198
- 「江戸時代の考証学と折衷派に対する考察(抄)」殷哲玫『日本医史学雑誌』56(2) 190
- 「王室記録に見られる『東医宝鑑』関連記載の分析—正祖時代までの記録を中心として—(抄)」姜焯現, 車雄碩, 金南一『日本医史学雑誌』56(2) 179
- 「韓国ジャーナルに載せられた補完代替医学関連研究の動向分析(抄)」李太亨, 金南一『日本医史学雑誌』56(2) 171
- 「清代医案における外感病と内傷病の舌象特徴の研究(抄)」梁嶸, 王盛花, 李燕, 王召平, 侯楊方, 官君達, 李方玲『日本医史学雑誌』56(2) 196
- 「総合する4組の敦煌医薬卷子断簡について(抄)」沈澍農『日本医史学雑誌』56(2) 219
- 「毒—中日の医家で解釈が異なる病因術語(抄)」朱建平『日本医史学雑誌』56(2) 215

- 「本草効能用語に関する研究（抄）」金恩瑕，吳龍澤，李丙旭『日本医史学雑誌』56(2) 180
- 「李東垣の陰火論に対する研究（抄）」方正均『日本医史学雑誌』56(2) 188
- 「現在の日本の鍼灸学 日本の灸の基礎研究 序（【Current Japanese Acupuncture and Moxibustion】 Basic Research into Japanese Moxibustion: Introduction）（英語）」Aizawa Shigekatsu『The Journal of Kampo, Acupuncture and Integrative Medicine』1(Special Edition) 29-35
- 「中国のがん漢方治療 歴史と現在」侯殿昌『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 306
- 「【孟河医学 現代中医学のルーツ】近代中国で最も活力のある中医流派」黄煌『中医臨床』31(3) 303-306
- 「日韓伝統医学の潮流 韓国韓医学の潮流」金璋顯『日本東洋医学雑誌』61(3) 348-352
- 「伝統医学における日韓交流の歴史 韓国と日本の歴史上の医学交流 新しい時代の使命のために」金性洙『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 129-130
- 「【孟河医学 現代中医学のルーツ】孟河医派・費氏用の薬」申春梯，沈春鋒『中医臨床』31(3) 322-325
- 「中国古代鍼灸学派の一考察」王財源，遠藤宏，吉備登『関西医療大学紀要』4, 1-6
- 「現在の日本の鍼灸学 日本の鍼灸学の歴史（【Current Japanese Acupuncture and Moxibustion】 History of Japanese Acupuncture and Moxibustion）（英語）」Yasui Hiromichi『The Journal of Kampo, Acupuncture and Integrative Medicine』1(Special Edition) 2-9
- 「現在の日本の鍼灸学 日本の鍼灸学校とその特徴（【Current Japanese Acupuncture and Moxibustion】 Japanese Acupuncture Schools and their Characteristics）（英語）」Yasui Hiromichi『The Journal of Kampo, Acupuncture and Integrative Medicine』1(Special Edition) 40-45
- 「証の歴史と現代的課題（上，下）」秋葉哲生『漢方の臨床』57(11-12) 1825-1837, 2017-2024
- 「目でみる漢方史料館（260）謝観と『中国医学大辞典』天野陽介，小曾戸洋『漢方の臨床』57(5) 706-708
- 「目でみる漢方史料館（265）日本の扁鵲像（2）」天野陽介，小曾戸洋『漢方の臨床』57(10) 1630-1632
- 「目でみる漢方史料館（257）岡本玄治の肖像」天野陽介，小曾戸洋，町泉寿郎『漢方の臨床』57(2) 202-204
- 「目でみる漢方史料館（267）先哲医家・医史跡周覧会」天野陽介，矢数芳英，小曾戸洋『漢方の臨床』57(12) 2006-2008, 2189-2195
- 「漢代の医学 その1『漢書』藝文志，方技略」家本誠一『漢方の臨床』57(5) 811-823
- 「漢代の医学 その2 陰陽五行三才」家本誠一『漢方の臨床』57(6) 953-968
- 「漢代の医学 その3 解剖学」家本誠一『漢方の臨床』57(7) 1145-1158
- 「漢代の医学 その4 生理学」家本誠一『漢方の臨床』57(8) 1416-1426
- 「漢代の医学 その5 生理学（2）」家本誠一『漢方の臨床』57(9) 1552-1587
- 「漢代の医学 その6 病因論」家本誠一『漢方の臨床』57(10) 1731-1743
- 「漢代の医学 その7 病理学（1）」家本誠一『漢方の臨床』57(11) 1941-1957
- 「五味説新考（抄）」猪飼祥夫『日本医史学雑誌』56(2) 213
- 「日韓伝統医学の潮流 漢方医学の潮流」石野尚吾『日本東洋医学雑誌』61(3) 352-358
- 「漢方医学の歴史」泉義雄『薬理と臨床』20(1) 43-51
- 「東洋医学の史跡探訪 四天王寺と日本医学（鍼灸医学）の発展過程」今井賢治，吉元授『東洋医学』16(1) 39-42
- 「茶と『神農本草経』について（抄）」岩間眞知子『日本医史学雑誌』56(2) 212
- 「『外科理例』の鍼灸（抄）」上田善信『日本医史学雑誌』56(2) 225
- 「脈状診と病証について」浦山久嗣『経絡治療』(180) 27
- 「『千金方』傷寒門所引の華佗方にみられる原始的

- 「な傷寒の治方」遠藤次郎、鈴木達彦『日本医史学雑誌』56(4) 513-526
- 「室町・江戸期の診察・診断・治療 杉山流形成に至る諸流派の影響とその後の展開」大浦慈観『伝統鍼灸』37(2) 103
- 「傷寒論 厥陰病の病態解析 傷寒論の解説書に学ぶ厥陰病の考え方」大熊康裕、山内英雄、中原一憲、松田和也、山下和彦『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 139
- 「気滞の歴史的背景の検索」沖津玲奈、岩崎鋼、八重樫伸生『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 256
- 「冬虫夏草の文献史料(その1)」奥沢康正『啓迪』(28) 45-66
- 「ベトナム近現代史における「伝統医学」(抄)」小田なら『日本医史学雑誌』56(2) 191
- 「王清任の補氣観—李東垣との比較から—(抄)」越智秀一『日本医史学雑誌』56(2) 189
- 「日中医学交流史49. 宋大仁の三木榮宛て手紙による思い出」郭秀梅『日中医学』25(2) 36-38
- 「古医書のはなし 甲骨文字の発見と漢方薬」小曾戸洋『漢方と鍼』34(2-3) 6-7, 6-7
- 「古医書のはなし 日本への鍼灸の伝来」小曾戸洋『漢方と鍼』34(4) 7
- 「古医書のはなし 扁鵲伝説」小曾戸洋『漢方と鍼』34(1) 6-7
- 「先哲医家の顕彰」小曾戸洋『漢方の臨床』57(9) 1455-1456
- 「馬王堆医学帛書の研究(抄)」小曾戸洋『日本歯科医史学会々誌』28(4) 258-259
- 「目でみる漢方史料館(261) 敦煌本「新修本草序例」—新公開の李盛鐸本」小曾戸洋『漢方の臨床』57(6) 882-884
- 「目でみる漢方史料館(266) 内藤希哲の『医経解惑論』」小曾戸洋『漢方の臨床』57(11) 1814-1816
- 「目でみる漢方史料館(256) 片倉鶴陵賛の張仲景像」小曾戸洋、天野陽介『漢方の臨床』57(1) 2-4
- 「目でみる漢方史料館(262) 『医界之鉄椎』の出版」小曾戸洋、天野陽介『漢方の臨床』57(7) 1054-1056
- 「目でみる漢方史料館(264) 井上玄徹肖像」小曾戸洋、天野陽介、町泉寿郎『漢方の臨床』57(9) 1446-1448
- 「目でみる漢方史料館(263) 尾台榕堂の師と『類聚方広義』稿本」小曾戸洋、吉村重敏『漢方の臨床』57(8) 1214-1216
- 「柳宗元疾病攷(抄)」小高修司『日本医史学雑誌』56(2) 222
- 「『大同類聚方(寮本・延喜本)』に見える古代朝鮮の国名と関係のある薬方(抄)」後藤志朗『日本医史学雑誌』56(2) 183
- 「延喜式典薬寮雑薬と古代和法の真髓(31)」齊藤匡男『漢方の臨床』57(1) 173-177
- 「【肥満と漢方】漢方からみた肥満のとらえ方 歴史的観点から」定形綾香、松田邦夫『漢方と最新治療』19(4) 281-286
- 「『素問』『通評虚实論』における精気論—九針論、五俞穴との関わり—」鈴木達彦、遠藤次郎『漢方の臨床』57(3) 393-404
- 「医在厨房 唐代の食療」辰巳洋『漢方と診療』1(2) 133
- 「日中医学交流史46. 日中の古典医書から見る蕎麦(2)—『本草綱目』と『本朝食鑑』を中心に—」辰巳洋『日中医学』24(5) 28-30
- 「『女科證治準繩』における鍼灸条文の典拠について(抄)」田中利江子『日本医史学雑誌』56(2) 224
- 「『一原三岐』について(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』56(2) 232
- 「『殿暦』の鍼灸(抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』56(2) 229
- 「古医方の勃興と古義学・古文辞学・古学 その全体像の俯瞰」寺澤捷年『日本東洋医学雑誌』61(7) 889-896
- 「尾台榕堂大成への序章—初学時代の縁を考える—」寺澤捷年『漢方の臨床』57(8) 1263-1269
- 「日中医学交流史47. 日本と中国における六神丸(中国編)」陶恵寧『日中医学』24(6) 34-36
- 「日中医学交流史48. 日本と中国における六神丸(日本編)」陶恵寧『日中医学』25(1) 24-26
- 「東洋の伝統医学から見た自然治癒力 その生命

- 「観と養生」東郷俊宏『総合看護』45(2) 17-22
- 「『鍼灸阿是要穴』からの阿是穴，奇穴，経穴の意義についての考察（第一報）」戸田静男『日本東洋医学雑誌』61（別冊）229
- 「原南陽『経穴彙解』における奇穴の一考察」戸田静男『関西医療大学紀要』4, 75-85
- 「損至について（抄）」中川俊之『日本医史学雑誌』56(2) 223
- 「横刺再考」中倉健『伝統鍼灸』36(3) 154-158
- 「傷寒論 厥陰病の病態解析 千葉古方の解釈」中村謙介『日本東洋医学雑誌』61（別冊）143
- 「小児鍼の歴史をひもとく新史料 日本における散気の施灸 鍼と灸のフォークロア 挿絵に描かれた小児の施灸風景」長野仁『鍼灸Osaka』26(1) 115-121
- 「小児鍼の歴史をひもとく新史料 俳聖・鬼貫の貧乏伝説と小児按摩 小児按摩から小児鍼へ養生法としてのストーン・セラピー」長野仁『鍼灸Osaka』25(4) 451-462
- 「河津省庵における儒学と医学」名倉正博『斯文』(119) 1-15
- 「医易の源流を歴史に探る」西岡由記『伝統鍼灸』36(3) 114-125
- 「『断毒論』と『国字断毒論』、『翻訳断毒論』の比較—漢方医学の立場から—（抄）」西卷明彦『日本医史学雑誌』56(4) 549-551
- 「日本における舌診思想の一考察（その1）（抄）」西卷明彦『日本医史学雑誌』56(2) 197
- 「日本における舌診思想の受容と独自化（抄）」西卷明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』28(4) 310
- 「宋代の漢籍に見える『内经』経文（抄）」橋本典子『日本医史学雑誌』56(2) 259
- 「腹診入門（第1回） 腹診とはなにか」花輪壽彦『漢方と診療』1(3) 164-166
- 「『素問』『靈樞』における三焦概念の変遷（抄）」林孝信『日本医史学雑誌』56(2) 226
- 「東洋医学における風概念の変遷について（抄）」別部智司，戸出一郎，三浦一恵『日本歯科医史学会々誌』28(4) 270-271
- 「龔廷賢方の清代医学文献における引用—日中医学の相違—（抄）」星野卓之，天野陽介，小曾戸洋，花輪壽彦『日本医史学雑誌』56(2) 216
- 「『医心方』に記載されている九虫に関する考究（抄）」牧純『日本医史学雑誌』56(2) 228
- 「傷寒論における「堅」と「鞭」と「卯」（抄）」松岡尚則，栗林秀樹，別府正志，山口秀俊，中田英之，岩井祐泉，牧甬和宏『日本医史学雑誌』56(2) 214
- 「傷寒論の著者に関する考察」松岡尚則，山下幸一，栗林秀樹，別府正志，岡田研吉，牧角和宏，中田英之『日本東洋医学雑誌』61（別冊）255
- 「『鍼灸施治姓名録』について—幕末の岡山県邑久郡周辺における鍼灸記録—（抄）」松村紀明，中島洋一『日本医史学雑誌』56(2) 233
- 「伝統医学における日韓交流の歴史 日本が受容した韓医学と古医籍の交流史」真柳誠『日本東洋医学雑誌』61（別冊）128
- 「日韓越の医学と中国医書（抄）」真柳誠『日本医史学雑誌』56(2) 151
- 「『金塵要略』の成立と現存版本」真柳誠『漢方の臨床』57(3) 405-420
- 「臺灣訪書誌Ⅱ 國家圖書館（臺北）所蔵の醫藥古典籍（31, 33-34）」真柳誠『漢方の臨床』57(1, 3-4) 167-171, 515-521, 661-666
- 「目でみる漢方史料館（258） 新出の小学本『金匱要略』—呉遷本」真柳誠『漢方の臨床』57(3) 382-384
- 「日本の医学・医療と鍼灸の位置 日本近代期の私立鍼灸学校の成立過程に着目して」箕輪政博『社会鍼灸学研究』（増刊号）i-59
- 「鍼灸教育の現在過去未来 日本近代の私立鍼灸学校の実在」箕輪政博，形井秀一『全日本鍼灸学会雑誌』60(3) 589
- 「『難経集注』について（抄）」宮川浩也，天野陽介，小曾戸洋，花輪壽彦『日本医史学雑誌』56(2) 221
- 「日本における金瘡治療の展開—白朝散を中心に—（抄）」森田まゆ，鈴木達彦『日本医史学雑誌』56(3) 458-459
- 「温知堂のつくりおき処方／一貫堂医学とは？」矢数芳英『福岡医師漢方研究会会報』31(2) 1-14

- 「千金方」の名称をめぐる(抄) 矢数芳英, 小曾戸洋『日本医史学雑誌』56(2) 220
- 「漢方医学と中医学(下)」安井廣迪『漢方研究』(460) 22-36
- 「饗庭東庵『首書十四経』の龍頭について(抄)」山崎陽子『日本医史学雑誌』56(2) 261
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(12)-(17)」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』12-17, 93-95, 93-95, 93-95, 93-95, 93-95, 93-95
- 「幻の『漢洋医学闘争史』下巻(1-2)」油井富雄『漢方の臨床』57(9-10) 1588-1596, 1781-1783
- 「中国の中医学小児科事情」楊衛平『日本小児東洋医学会誌』24, 87-96
- 「吉益東洞の再認識を一疾医の道の創成者として」横田観風『漢方の臨床』57(8) 1271-1293
- 「耳聾について(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』56(2) 217
- 「中国伝統医学と道教(第30回「医道」と「医家」(抄)」吉本昭治『日本医史学雑誌』56(2) 211
- 「日中医学交流史50. 病氣と日本の漢方一医史学の視点から」魯紅梅『日中医学』25(3) 28-32
- 「シンガポールにおける中医学の歴史と教育の再考察」渡邊勇『漢方の臨床』57(6) 989-999
- 「目でみる漢方史料館(259) 戦前の漢方雑誌『医道』」渡辺浩二, 小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』57(4) 546-548
- 「孟河医学 現代中医学のルーツ」孟河医派の成立と発展」李夏亭『中医臨床』31(3) 307-316
- 「孟河医学 現代中医学のルーツ」費伯雄と丁甘仁の医案」潘朝曦『中医臨床』31(3) 317-321
- 44 内科史**
- 「対糖尿病合併症のインベション 成因から管理, 治療まで」わが国における血糖自己測定30年の歩み」池田義雄『糖尿病UP-DATE』(26) 164-177
- 「インクレチンの歴史と展望」岩本安彦, 清野裕, 中林肇『Diabetes Journal: 糖尿病と代謝』38(4) 149-159
- 「がん医療における心療内科の役割 心療内科におけるサイコオンコロジーの歴史的背景」大島彰『日本心療内科学会誌』14(4) 201-205
- 「心不全 研究と臨床の最前線」心不全研究の歴史の変遷 Harveyから再生医学まで, 400年の沿革」篠山重威『医学のあゆみ』232(5) 299-306
- 「インクレチン製剤 基礎と臨床」インクレチン研究の歴史は? インクレチン研究の歴史について教えてください」島健二『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』9(4) 527-529
- 「インクレチン研究の歴史と臨床への展開」清野裕『日本栄養・食糧学会大会講演要旨集』64, 14
- 「臨床医に役立つ「インクレチン」講座」インクレチン研究の歴史と今後の展開」清野裕, 表孝徳『ホルモンと臨床』58(1) 3-6
- 「CARDIAC PRACTICE 過去・現在・未来 わが国における循環器診療のあゆみ」矢崎義雄, 堀正二, 今泉勉, 永井良三『Cardiac Practice』21(3) 231-237
- 45 皮膚科史**
- 「アトピー性皮膚炎の漢方治療 アトピー性皮膚炎混乱の歴史」夏秋優『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 131
- 「見逃しやすい感染症」皮膚感染症の歴史と分類」福田知雄『Visual Dermatology』9(11) 1134-1138
- 46 泌尿器科史**
- 「泌尿器学とははじめ PSA ( $\gamma$ -Sm) の発見(1-5)」折笠精一『泌尿器外科』23(1, 3-6) 59-64, 593-597, 723-728, 847-850, 847-850
- 「腎・泌尿器癌 基礎・臨床研究のアップデート」膀胱癌 基礎研究 膀胱癌基礎研究の歴史と現状 将来展望も含めて」寛善行, 呉秀賢『日本臨床』68(増刊4 腎・泌尿器癌) 197-202
- 「腎・泌尿器癌 基礎・臨床研究のアップデート」腎癌 基礎研究 腎癌基礎研究の歴史と現状」執印太郎『日本臨床』68(増刊4 腎・泌尿器癌) 7-12

- 「【内視鏡的治療】泌尿器科における鏡視下手術の進歩」高田徳容『市立札幌病院医誌』70(1) 15-25
- 「【腎・泌尿器癌 基礎・臨床研究のアップデート】精巣癌 基礎研究 精巣癌基礎研究の歴史と現状」野々村祝夫，永原啓，奥山明彦『日本臨床』68（増刊4 腎・泌尿器癌）447-452

#### 47 病院史

- 「龍山・釜山などの鉄道病院の沿革」小関恒雄『日本医事新報』(4515) 101
- 「戦前，精神障害者の治療を担っていた民間施設とは 幻の施設，東北慈恵院」近藤等『精神看護』13(2) 86-91
- 「病院史から読み解く医療イノベーションと病院機能の変遷」杉山正樹『日本医療・病院管理学会誌』47(Suppl.) 243
- 「明治四年名古屋県仮病院の開設について—『民政御用留』所収史料の検討—」羽賀祥二『名古屋大学大学文書資料室紀要』(18) 77-101
- 「クイーン・スクエア・ホスピタルの創設と発展（抄）」柳澤波香『日本医史学雑誌』56(2) 244
- 「テレビドラマの中の病院 米国ドラマ『ER』と韓国版『白い巨塔』・台湾ドラマ『ザ・ホスピタル』（前編）（後編）」渡部幹夫『病院』69(5-6) 368-371, 460-463

#### 48 病跡学

- 「我が国における病跡学の歴史（戦後篇）1945～1969」高橋正雄『日本病跡学雑誌』(80) 23-46

#### 49 病理学史

- 「日本でのB細胞と抗体の研究 歴史的観点（The study of B cells and antibodies in Japan: a historical perspective）（英語）」Kurosaki Tomohiro『International Immunology』22(4) 217-226
- 「骨・軟部腫瘍 HE診断からmicroRNA解析まで 骨肉腫の病理診断の歴史の変遷」石田剛『日本病理学会会誌』99(1) 167
- 「病理の100年を振り返って」菅野晴夫『日本病理学会会誌』99(1) 107

- 「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 近代病理学への進歩（後編）」森昌彦『歯科医療』24(1) 129-146
- 「古病理学的所見と縄文・弥生時代の埋葬属性との対応関係」山田康弘『月刊考古学ジャーナル』(606)

#### 50 風俗史

- 「日本最初の「海水浴の書」か—緒方惟準が『公文通誌』に寄せた投稿文—」鈴木伸治『医譚』(108) 6039-6045

#### 53 放射線医学史

- 「放射線リスクとその防護 歴史的進展と課題」甲斐倫明『病体生理』44, 9-15
- 「神経放射線 神経放射線30年」菅信一『画像診断』30(13) 1380-1390
- 「診療放射線技師法の制定と技師教育との歴史的考察」西山篤，桑山潤，西澤徹『診療放射線学教育学』2(1) 27-34

#### 54 本草学史・博物学史

- 「『草木図説』の構造—小野蘭山学統の本草学と洋学の影響—」遠藤正治『愨斎研究会だより』(120) 1-8

#### 55 麻酔学史

- 「韓国の麻酔科学の歴史と現況」KimMi-Woon，比嘉裕樹，比嘉和夫『麻酔』59(11) 1456-1459
- 「1870年に発刊された“Dr. Wells, the Discoverer of Anaesthesia”について（抄）」石橋肇，落合俊輔，米長悦也，渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』28(4) 262
- 「エーテル麻酔創始者の一人であるW. T. G. Morton 救済のための寄付に関わる小冊子“PROCEEDINGS IN BEHALF OF THE MORTON TESTIMONIAL”について（その3-4）」加來洋子，石橋肇，渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』28(3-4) 205-211, 323-331
- 「【麻酔の質と手術患者の覚醒】麻酔の質改善の歴史 麻酔の質はどのように向上してきたか」宮

- 部雅幸『医学のあゆみ』234(2) 157-160
- 「昔の麻酔, 今の麻酔 麻酔の将来を見据えて 昔の麻酔 先人達の工夫と現代への架け橋」横山正尚『日本臨床麻酔学会誌』30(6) S184
- 57 薬学史**
- 「【マイクロドーズ臨床試験】マイクロドーズ臨床試験の歴史」馬屋原宏『臨床薬理』41(1) 2-8
- 「用量反応の歴史 (History of dose response) (英語)」Waddell William J.『The Journal of Toxicological Sciences』35(1) 1-8
- 「歴史的に頻用されてきた処方 越婢加朮湯について」赤尾清剛『日本東洋医学雑誌』61(5) 785-791
- 「医療用漢方製剤の歴史」秋葉哲生『日本東洋医学雑誌』61(7) 881-888
- 「わが国におけるアミノ酸系医薬品開発50年の変遷(第2報) —アミノ酸製剤(輸液を除く)とアミノ酸誘導体製剤—」荒井裕美子, 松本和男『薬史学雑誌』45(1) 30-39
- 「わが国のアミノ酸系医薬品開発50年の変遷(その3) —ペプチド系製剤— (抄)」荒井裕美子, 松本和男『薬史学雑誌』45(2) 161
- 「日韓併合中の朝鮮の医育機関での薬学系教育者群像(抄)」石田純郎『薬史学雑誌』45(2) 148
- 「『小樽市小学校薬品準方』発見と内容(抄)」石森靖啓, 栗林雅広, 平尾清美, 林昌平, 岡崎政智, 吉沢逸雄『薬史学雑誌』45(2) 158
- 「資料・「拜診日記」元治元年八月御医者覚 黒川良安の処方した蘭方薬」板垣英治『北陸医史』(32) 20
- 「明治初期の金沢での薬学教育」板垣英治『北陸医史』(32) 72-81
- 「丸散方から湯液方へ(抄)」遠藤次郎, 鈴木達彦『薬史学雑誌』45(2) 170
- 「明治初期の売薬許認可 県立宮城病院『検薬要務録』の事例から(抄)」荻原通弘, 遠藤次郎『薬史学雑誌』45(2) 162
- 「古代インドの薬学史」奥田潤, 夏目葉子『薬史学雑誌』45(1) 15-29
- 「江戸期在村医の製売薬—岡山県邑久郡中島家の関連文書の分析から— (抄)」梶谷真司『日本医史学雑誌』56(2) 199
- 「【インスリン製剤はここまで来た】インスリン製剤 開発の歴史と作用特性」金重勝博, 小林哲郎『糖尿病の最新治療』1(2) 50-54
- 「麻薬を科学する モルヒネ研究の移り変わり」兼松顯『薬史学雑誌』45(1) 3-6
- 「わが国の医薬品開発を取り巻く環境の問題点 米国の医薬品産業・行政の歴史と, 今後の日本の社会産業構造の変貌からみた医薬産業への期待」川上浩司『PHARM TECH JAPAN』26(9) 1621-1623
- 「【麻薬と覚せい剤】アヘンの文化史 日本と中国」木下武司『ファルマシア』46(9) 851-855
- 「樟脳から出発(日本精化のあゆみ)」木村修『薬史学雑誌』45(1) 71-77
- 「江戸・明治期動物医学書に登場する医薬品に関する考察」久保光平, 小松知貴, 大垣旭, 島和嗣, 島山貴博, 澤田采佳, 木村壮太郎, 小松直登, 菰田綾佳『日本薬学会年会要旨集』130(3) 278
- 「抗アレルギー薬の歴史 —メディエーター遊離抑制薬開発の歴史—」黒沢元博, 湯川龍雄, 相良博典『喘息』23(1) 91-94
- 「【抗うつ薬導入50年】三環系抗うつ薬の果たした役割と今後への期待」越野好文『臨床精神薬理』13(10) 1857-1865
- 「後志の薬史(2) 倶知安町における薬品原料の栽培(抄)」小松健一, 木村充博, 吉沢逸雄『薬史学雑誌』45(2) 143
- 「上方落語に登場する医薬品」五位野政彦『薬史学雑誌』45(1) 82-85
- 「台湾薬学会誌に掲載された「漫画」(抄)」五位野政彦『薬史学雑誌』45(2) 169
- 「【肝胆膵薬物治療学の進歩 この30年】胆膵分野 蛋白分解酵素阻害薬 FOYの30年の歴史と臨床成績」阪上順一, 片岡慶正, 十亀義生, 保田宏明, 吉川敏一『肝・胆・膵』61(6) 1208-1214
- 「アイヌの生薬など—江戸時代の文献を中心に— (抄)」佐々木利和『薬史学雑誌』45(2) 139



- 「【抗ウイルス薬物療法の現状と今後の展望】抗ウイルス薬研究の歴史と今後の展望」茂田士郎『医薬ジャーナル』46(2) 719-723
- 「正倉院の薬物と厚朴」柴田承二，指田豊『ファルマシア』46(4) 323-327
- 「歴史的に頻用されてきた処方 加味逍遙散」新谷卓弘『日本東洋医学雑誌』61(5) 791-796
- 「服薬の意義」鈴木達彦，遠藤次郎『薬史学雑誌』45(2) 112-118
- 「漢方処方の薬用量と服用法に関する検討（抄）」石珏，鈴木達彦『薬史学雑誌』45(2) 159
- 「医薬品の再評価の歴史」高橋春男『薬史学雑誌』45(2) 93-100
- 「副作用報告制度の変遷—欧米の制度との比較（抄）」高橋春男『薬史学雑誌』45(2) 168
- 「香料業界の歴史の変遷（1）—関西方面を中心として—（抄）」多胡彰郎，宮崎啓一『薬史学雑誌』45(2) 156
- 「【肝胆膵薬物治療学の進歩 この30年】肝臓分野 B型肝炎治療薬 ラミブジン（ゼフィックス）開発の歴史と意義」田中榮司，松本晶博『肝・胆・膵』61(6) 981-987
- 「【越俎薬誌】と戦時下の生薬代用品について」津田篤太郎，渡辺浩二，星野卓之，蒲生裕司，矢数芳英，天野陽介，小曾戸洋，花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』61(別冊) 257
- 「日本の薬系大学でのドライラボの歴史と現状—衛生裁判化学から社会薬学まで—（抄）」寺岡章雄，津谷喜一郎『薬史学雑誌』45(2) 160
- 「薬事温故知新（第1回）歴史から学ぶか経験から学ぶか」土井脩『医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス』41(1) 64-65
- 「【大黃】と【芒硝】の薬対に関する史的考察」堂井美里，安藤広和，五井千尋，垣内信子，御影雅幸『薬史学雑誌』45(2) 106-111
- 「【抗うつ薬導入50年】抗うつ薬導入50年を振り返って 芳香族モノアミンを巡る展開」中嶋照夫『臨床精神薬理』13(10) 1847-1855
- 「臨床薬理学の温故知新 臨床薬理研究会発足から40年目を記念して」中野重行『臨床薬理』41(5) 223-231
- 「キナの国内栽培に関する史的研究（第1報）農務顛末にみる明治初期における国内初の栽培の試み」南雲清二，佐々木陽平，（故）伊澤一男『薬史学雑誌』45(1) 49-58
- 「キナの国内栽培に関する史的研究（第2報）明治初期に行われたジャワ・インドからの熱帯有用植物の導入」南雲清二，佐々木陽平，滝戸道夫『薬史学雑誌』45(2) 101-105
- 「キナの国内栽培に関する史的研究（第3報）榎本武揚によるキナ導入の建議書について」南雲清二，伊澤一男『薬史学雑誌』45(2) 119-125
- 「キナの国内栽培に関する史的研究 明治初期に行われたジャワ・インドからの熱帯有用植物の導入（抄）」南雲清二，佐々木陽平，滝戸道夫『薬史学雑誌』45(2) 164
- 「松江藩の薬用人参（新種人参）栽培と三瓶山，石見銀山との関連について—「三瓶人参耕作記願書及金本摩斎記政満傳（安永八年正月）から—」成田研一『薬史学雑誌』45(2) 165
- 「日本最大そして最後のシメチジン製造法特許係争裁判とその史的意義について（抄）」西谷潔，寺山博行，山川浩司『薬史学雑誌』45(2) 163
- 「社会の変遷と薬事法」益山光一，磯部総一郎『薬史学雑誌』45(1) 78-81
- 「薬用人参の蘆頭の薬史的考証とギンセンノシド類の組成」松田秀秋，村田和也，竹下文章，高田敬士，寒川慶一，谿忠人『薬史学雑誌』45(1) 40-48
- 「【なぜ今，Ca拮抗薬とACE阻害薬なのか？】ACE阻害薬に関する話題 ACE阻害薬の歴史と種類」松本研三，浦田秀則『Modern Physician』30(3) 377-381
- 「吸入療法の歴史 抗コリン薬」眞野健次『吸入療法』2(1) 82-89
- 「目で見える漢方薬・生薬 柴胡（サイコ）」水上元『医薬ジャーナル』46(4) 1091-1100
- 「香料業界の歴史の変遷（2）—大阪道修町をめぐる薬種および香料について—（抄）」宮崎啓一，多胡彰郎『薬史学雑誌』45(2) 157
- 「Imipramineから50年 わが国における抗うつ薬開発の歴史的展開」村崎光邦『臨床精神薬理』

- 13 (10) 1831-1846  
 「防爆用電導シューズにまつわる麻酔の歴史」森岡亨『日本臨床麻酔学会誌』30 (6) S269
- 「中国と日本における四物湯の応用と展開 (抄)」森田まゆ, 鈴木達彦『薬史学雑誌』45 (2) 167
- 「歴史的に頻用されてきた処方 温知堂の頻用処方 清上けん痛湯」矢数芳英『日本東洋医学雑誌』61 (5) 775-785
- 「生薬学の伝統と革新 教育・研究・臨床の立場から 山科植物資料館の歴史とその取組み 製薬企業の薬用植物園の一例」山浦高夫『日本薬学会年会要旨集』130 (1) 325
- 「北海道の薬草栽培の歴史から生薬資源を考える (上)」山岸喬『漢方研究』(457) 14-20
- 「モルヒネを語る 誕生から200年を超えた鎮痛薬」山口重樹『日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集』15, 326
- 「歴史的に頻用されてきた処方 桂枝加黄耆湯を中心に」山田享弘『日本東洋医学雑誌』61 (5) 796-805
- 「抗アレルギー薬の歴史 TXA2阻害薬 TXA2合成酵素阻害薬とTXA2受容体拮抗薬について」湯川龍雄, 相良博典, 黒沢元博『喘息』23 (2) 215-226
- 「人と薬の羅針盤21 ギリシア科学の始まり」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(652) 36-39
- 「人と薬の羅針盤22 シラクーサとアルキメデス」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(653) 24-27
- 「人と薬の羅針盤23 ギリシアの三大哲人」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(654) 22-25
- 「人と薬の羅針盤24 アレクサンダー大王とアレクステレス」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(655) 22-25
- 「人と薬の羅針盤25 ヘレニズム文化とアレクサンドリアの街」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(656) 22-25
- 「人と薬の羅針盤26 永遠の都と、ローマの誕生」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(657) 24-27
- 「人と薬の羅針盤27 東西文明の十字路, トルコ」吉岡ゆうこ, 城戸真由美『大塚薬報』(658) 22-25
- 「『小樽市小学校薬品準方』発見と概要 (抄)」吉沢逸雄『薬史学雑誌』45 (2) 144
- 「『写真で見る韓国近現代医療文化史 1879~1960』中の薬学史についての記載について」李興基, 石田純郎『薬史学雑誌』45 (1) 67-70
- 「薬学の眼でシーボルト関連の種子・果実標本を検証する (抄)」和田浩志『薬史学雑誌』45 (2) 151-154
- 59 リハビリテーション関係史**
- 「日本のリハ医学・医療の過去, 現在そして未来 リハ医学教育・研究発展の歴史」千野直一『The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine』47 (Suppl.) S80
- 「リハビリテーション医学教育・研究の歴史 Dr. Frank Krusenからのメッセージ」千野直一『The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine』47 (11) 768-773
- 60 検査**
- 「テクノロジーからみた血液ガス測定の歴史」諏訪邦夫『麻酔・集中治療とテクノロジー』2008, 1-13
- 「乳癌検診の過去, 現在, 未来 乳癌検診 過去から現在まで」森本忠興『日本乳癌検診学会誌』19 (2) 87-93
- 「米国における脳波検査室の歴史, 現状と将来」山田徹『臨床神経生理学』38 (5) 300
- 61 その他**
- 「もしもお医者さんかいなかったら?」『かがく組』(1) 23-32
- 「スタチン発見に関する歴史的展望 (A historical perspective on the discovery of statins) (英語)」EndoAkira『Proceedings of the Japan Academy Series B, Physical and Biological Sciences』86 (5) 484-493
- 「日本人研究者によるサイトカインの研究 歴史的

- 展望（The study of cytokines by Japanese researchers: a historical perspective）（英語）Kumanogoh Atsushi, Ogata Masato 『International Immunology』22（5）341-345
- 「Digest シリーズ 血液の歴史（Vol.4） $\alpha$ 2 Plasmin Inhibitor」青木延雄『Medical Science Digest』36（2）653-655
- 「【「共助」の時代・再考】〈老い〉をめぐる政策と歴史」天田城介『福祉社会学研究』7，41-59
- 「【疲労と機能性食品】疲労研究の歴史と今後の展望」梶本修身『Functional Food』3（4）334-338
- 「明治29年三陸海嘯における日本赤十字社の救護方針 岩手県出張員の記録資料から」川原由佳里『日本災害看護学会誌』12（1）93
- 「威臨丸乗組水夫の見たアメリカ」河元由美子『洋学史研究』（27）50-89
- 「医史学の伝統復活薩摩琵琶」酒井シヅ，岡田靖雄『日本医史学雑誌』56（1）77-78
- 「【p53 ワールド 新たな癌抑制機構から iPS 誘導，老化・代謝制御まで】p53 ワールド その発見30年の歴史，現在，そして未来」田中知明『実験医学』28（3）370-377
- 「Digest シリーズ 血液の歴史（Vol.5）成人T細胞白血病・リンパ腫（Adult T-cell Leukemia/Lymphoma: ATLL）の治癒は可能？」朝長万左男『Medical Science Digest』36（4）742-744
- 「認知症ケアの模索 1970-80年代における特別養護老人ホーム山水園の実践から」中野いずみ『社会福祉』（50）141-153
- 「日本の風土性にみる身体観—ある一断面の考察—（抄）」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』28（4）257
- 「医療安全とコロナの歴史」野口トーマス恒富『日本救急医学会雑誌』21（8）385-386
- 「体質医学研究の歴史と今後の展開」三村悟郎『日本体質医学会雑誌』72（3）3
- 「マイクロアレイの歴史（変遷・開発経緯）とがんへの応用」三好康弘『都臨技会誌』38（2）111
- 「Digest シリーズ 血液の歴史（Vol.6）造血幹細胞ニッチ」八幡崇『Medical Science Digest』36（6）822-824
- ## 62 中国語文献
- 「略論人類健康觀念の演變」梁峻・劉聰・張磊『中華医史雜誌』40（1）3-5
- 「健康理念的發展与現代研究之悖論」馬伯英『中華医史雜誌』40（1）6-8
- 「人痘接種30法及其文化背景因素析」Alicia Grant『中華医史雜誌』40（1）9-12
- 「中医学的健康觀及維護健康的特色和優勢」王階・湯艷莉『中華医史雜誌』40（1）13-14
- 「論健康認知的相對性」張海鵬・陳潤花『中華医史雜誌』40（1）15-17
- 「『泰定養生主論』的婚育保健」王瑩瑩・屈建峰・楊金生『中華医史雜誌』40（1）18-20
- 「吳茱萸名稱演變探究」毛斌斌・王德群『中華医史雜誌』40（1）21-23
- 「馬王堆医書の解剖知識」楊仕哲『中華医史雜誌』40（1）25-28
- 「論古布拉道爾吉對蒙医藥学發展的貢獻」包哈申『中華医史雜誌』40（1）29-32
- 「整體護理概念的提出及發展」李慧慧・李春雨・徐彩紅『中華医史雜誌』40（1）33-37
- 「宋本『傷寒論』訪書記」錢超塵『中華医史雜誌』40（1）38-41
- 「簡論中医文献学和中医各家学說的史学属性」王振瑞『中華医史雜誌』40（1）42-44
- 「60来中国近代伝染病史研究綜述」馮秋季『中華医史雜誌』40（1）45-52
- 「喉罩發展史料」李春雨・賈晋太『中華医史雜誌』40（1）53-55
- 「全国首届中医藥專門研究人員班」王曦明・劉崇晏・黃吉賡等『中華医史雜誌』40（1）32
- 「美国鼠疫研究先驅凱尼恩博士」金東英・李志平『中華医史雜誌』40（1）56-57
- 「著名中医文献学家余瀛鳌」王鳳蘭『中華医史雜誌』40（1）58-60
- 「評『中医方剂学發展史』和中浚・周興蘭『中華医史雜誌』40（1）61-63
- 「中華中医藥学会第12届中医医史文献學術研討会暨中華中医藥学会医史文献分会換届工作會議紀要」田思勝・劉玉璋『中華医史雜誌』40（1）24
- 「「鬲偏枯」之「鬲」字小考」金棟『中華医史雜誌』

- 40(1) 12
- 「林億新校正辨異三則」 蘭臺『中華医史雜誌』40(1) 17
- 「秦昌遇生卒年考」 張一群『中華医史雜誌』40(1) 37
- 「靜脈藥物配置中心」 發展簡史」 馬媛·張莉『中華医史雜誌』40(1) 55
- 「楊用道籍貫小考」 肖紅艷·錢超塵·嚴季瀾『中華医史雜誌』40(1) 63
- 「近代以来世界医学科学中心轉移現象探析」 左漢賓『中華医史雜誌』40(2) 67-71
- 「『蕪菹鹽豉醢酢醬』的食用与藥用」 楊金萍『中華医史雜誌』40(2) 72-76
- 「『太一』与『招搖』關係考」 孫基然『中華医史雜誌』40(2) 77-79
- 「明清時期來華西人對中國大黃的記述」 林日杖『中華医史雜誌』40(2) 80-86
- 「御医力鈞學術特色探析」 肖林榕·井運梅『中華医史雜誌』40(2) 87-89
- 「鼠疫外治專著『時疫核標蛇癩治法』」 張曉紅『中華医史雜誌』40(2) 90-92
- 「中國戰傷博物館的建設与意義」 王曉民·彭瑞云·王德文『中華医史雜誌』40(2) 93-96
- 「中俄野戰外科学史的比較」 李勇·羅長坤·肖南『中華医史雜誌』40(2) 97-104
- 「『俄羅斯藏敦煌医藥文献提要』補正」 袁仁智·沈澍農『中華医史雜誌』40(2) 105-108
- 「御医力鈞生平事跡考隅」 周輝·朱長剛·尹嶺『中華医史雜誌』40(2) 109-111
- 「馬來西亞檳榔嶼市中医中藥聯合會」 吳童『中華医史雜誌』40(2) 112-113
- 「『五十二病方』中的巫術与民俗」 賈海燕『中華医史雜誌』40(2) 114-119
- 「中國医史博物館2009年收藏的清代鑄鉄搗臼」 徐齊『中華医史雜誌』40(2) 86
- 「元代医家尚從善及『傷寒紀玄妙用集』」 孟慶云『中華医史雜誌』40(2) 92
- 「今古文經学對『內經』及其注疏的影響」 周琦·柳長華『中華医史雜誌』40(2) 121-124
- 「人工氣胸術發展簡史」 何玲『中華医史雜誌』40(2) 125-128
- 「中医学是一個不斷創新的開放体系」 王振瑞『中華医史雜誌』40(2) 120
- 「『同音樂工作者的談話』闡述的文化觀」 山爾『中華医史雜誌』40(2) 76
- 「『衡陽會議』与『石家莊會議』」 山爾『中華医史雜誌』40(2) 96
- 「中國中西医結合學會會徽」 李智華『中華医史雜誌』40(2) 111
- 「陝西省医学会医史分會第七屆委員會換屆會議在西安舉行」 高少才『中華医史雜誌』40(2) 108
- 「中國古代香熏活動的緣起与發展」 丁潔君·金芷君『中華医史雜誌』40(3) 131-136
- 「『五經』和『黃帝內經』中「瘡」,「蠱」詞義探析」 趙鴻君·鄭洪新『中華医史雜誌』40(3) 137-140
- 「『靈樞·天年』的探討」 許玉娟·林昭庚『中華医史雜誌』40(3) 141-144
- 「1946~1948年河北疫病防治措施」 賈鵠『中華医史雜誌』40(3) 145-148
- 「循証医学產生的背景辨析」 謝瑜·艾昌林·鄧紹林等『中華医史雜誌』40(3) 149-154
- 「俄藏黑水城医学文献『神仙方論』輯校考釈」 張如青·湯曉龍『中華医史雜誌』40(3) 155-161
- 「『雷公炮炙論』張驥輯本研究」 成莉『中華医史雜誌』40(3) 162-164
- 「民國廣東国医分館及各縣支館概況」 鄭洪『中華医史雜誌』40(3) 165-170
- 「訪中國赤脚医生第一人王桂珍」 楊佳·王曉燕·陳煜『中華医史雜誌』40(3) 171-174
- 「牛痘發明者貞納的多彩人生」 李丹溪·甄橙『中華医史雜誌』40(3) 175-179
- 「廣州越王墓中的方士医藥文物」 張衛·張瑞賢『中華医史雜誌』40(3) 140
- 「經皮冠状動脈介入治療簡史」 宋志遠·張之瀛·徐沢升『中華医史雜誌』40(3) 180-183
- 「『本草衍義』中的臟腑用藥」 陳潤花『中華医史雜誌』40(3) 186
- 「中國古代養生概述」 孫中堂『中華医史雜誌』40(3) 184-186
- 「略解「石淋」」 李媛媛『中華医史雜誌』40(3) 187-189
- 「清代京師普濟堂考」 張磊·梁峻『中華医史雜誌』

- 40 (3) 190-192
- 『本草衍義』中的藥性理論 蘭臺『中華医史雜誌』40 (3) 164
- 「全国医史文献学科建設發展創新研討會紀要」陳麗云·張葦航『中華医史雜誌』40 (3) 154
- 「論干支紀年与『素問』「七篇大論」的写作時代」孫非『中華医史雜誌』40 (4) 195-197
- 『太平聖惠方』与宋代社会 韓毅『中華医史雜誌』40 (4) 198-205
- 「惲鐵樵与陸淵雷學術觀點比較」楊枝青·畢麗娟·楊杏林『中華医史雜誌』40 (4) 206-209
- 「人類疾病的文化特征」余鳳高『中華医史雜誌』40 (4) 210-215
- 「關於『中国中医古籍總目』的編纂与使用」劉振遠『中華医史雜誌』40 (4) 216-221
- 「臺灣保險制度中關於中医醫療給付的規定」周珮琪·林昭庚『中華医史雜誌』40 (4) 222-224
- 「循証医学概念的演進及其啓示」謝瑜·艾昌林·鄧紹林等『中華医史雜誌』40 (4) 225-228
- 「機器人手術發展歷史回顧」李春雨·賈晋太·王建武等『中華医史雜誌』40 (4) 229-233
- 「希波克拉底对腫瘤的認識」鄭琪·南克俊·鄭懷林『中華医史雜誌』40 (4) 234-236
- 『傷暑全書』与『增訂傷暑全書』考 肖永芝·黄齐霞『中華医史雜誌』40 (4) 237-239
- 「現存『永樂大典』婦科文献考証举隅」張雪丹·張如青『中華医史雜誌』40 (4) 240-242
- 「霍亂疫苗鼠疫疫苗研制的先驅哈夫金」楊微『中華医史雜誌』40 (4) 243-246
- 「元豐備对」正訛及『中書備对』佚文考 馬燕冬『中華医史雜誌』40 (4) 247-249
- 「徐之才生平史料輯考」王鳳蘭『中華医史雜誌』40 (4) 250-253
- 「草薺治失溺·白濁·膏淋辨」蘭台『中華医史雜誌』40 (4) 197
- 「世界献血日的由来」清遠『中華医史雜誌』40 (4) 249
- 「北魏太武帝拓跋燾死因新探」王飛『中華医史雜誌』40 (4) 254-256
- 「成無己生卒年考」張海鵬『中華医史雜誌』40 (4) 256
- 「『嬰桃』考辨」何茂活『中華医史雜誌』40 (4) 封三
- 「国家級繼續教育項目「中医医家及其伝記研究培訓班」暨「医家伝記研究的繼承与創新」學術研討會紀要」甄艷『中華医史雜誌』40 (4) 221
- 「中国宫廷医学史略」李春生『中華医史雜誌』40 (5) 259-266
- 「中国古代優生文化辨析」蔣功成·宗紅『中華医史雜誌』40 (5) 267-273
- 「『和』在中国養生觀中的体现」陳麗云·嚴世蕓『中華医史雜誌』40 (5) 274-277
- 「宋代官刻医書流向初考」遼銘昕『中華医史雜誌』40 (5) 278-282
- 「1910-1937年的中国鐵路衛生防疫」黄華平·趙偉『中華医史雜誌』40 (5) 283-287
- 「『導引圖』与『引書』的比較分析」姚海燕『中華医史雜誌』40 (5) 288-291
- 「劉月恒与『生草藥性方譜』」張璐礫『中華医史雜誌』40 (5) 292-294
- 「近兩年來中医史研究進展」朱建平『中華医史雜誌』40 (5) 295-302
- 「『廣陽雜記』部分鄉土本草的考析」張均克『中華医史雜誌』40 (5) 303-305
- 「丁瓚与心理分析的应用」范庭衛·黄劍『中華医史雜誌』40 (5) 306-310
- 「疫病名家博濟黎民一紀念余奉仙誕辰150周年」余瀛鰲『中華医史雜誌』40 (5) 311-312
- 「南陽菊潭考」許敬生『中華医史雜誌』40 (5) 313-315
- 「漫話剖宮產」王重陽『中華医史雜誌』40 (5) 316-320
- 「Medline 網絡数据库收錄『中華医史雜誌』情况簡介」張騫『中華医史雜誌』40 (5) 封三
- 「王叔和思想認識論分析」孟慶云『中華医史雜誌』40 (6) 323-327
- 「『医学統宗』中的解剖知識」翟淑婷·程遠林『中華医史雜誌』40 (6) 328-330
- 「20世紀50年代我国關於金霉素的研究及工業化生產」牛亞華『中華医史雜誌』40 (6) 331-336
- 「聽診器的發明与發展」洪城·王瑋·鐘南山等『中華医史雜誌』40 (6) 337-340

- 「臨床路徑概念的提出及發展」王珍娥·上官青苗·武平『中華医史雜誌』40 (6) 341-345
- 「日本内閣本『傷寒論』不是趙開美本原刻本」錢超塵『中華医史雜誌』40 (6) 346-350
- 「『東坡養生集』文献学考察」張志斌·吳文清『中華医史雜誌』40 (6) 351-354
- 「『慈幼筏』成書年代考」張偉娜『中華医史雜誌』40 (6) 355-356
- 「仁慈医院和西医传入淮安」洪沢『中華医史雜誌』40 (6) 357-360
- 「1917年協和医学院奠基及開工典禮」蔣育紅·張霞『中華医史雜誌』40 (6) 361-365
- 「赤脚医生覃祥官」劉蘭秋『中華医史雜誌』40 (6) 362-365
- 「傅維康教授八十華誕紀念」李經緯『中華医史雜誌』40 (6) 366-367
- 「浙江部分老字号中藥店舖」朱德明『中華医史雜誌』40 (6) 368-373
- 「1953年成立的中西医交流委員會」山爾『中華医史雜誌』40 (6) 354
- 「從『北京中医』到『中医雜誌』」山爾『中華医史雜誌』40 (6) 373
- 「雌性激素認識簡史」遲阿魯『中華医史雜誌』40 (6) 374-375
- 「漢代「經方」·「本草」著錄考」羅瓊·柳長華·顧漫『中華医史雜誌』40 (6) 376-378
- 「博学而寡欲的尤怡」王振瑞『中華医史雜誌』40 (6) 379
- 「中国中医科学院研究生院中医藥信息管理碩士學位課程班開設中国医学史課程」山爾『中華医史雜誌』40 (6) 380-381
- Regular Profession, and the State in Antebellum Connecticut: A Case Study of the Repeal of Early Medical Licensing Laws: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (2) 153-186
- ARNOLD, David: British India and the “Beriberi Problem”, 1798-1942: *Medical History*: 54 (3) 295-314
- BENNETT, James: Keeping the Wolfenden from the Door? Homosexuality and the ‘Medical Model’ in New Zealand: *Social History of Medicine*: 23 (1) 134-152
- BICKEL, Marcel H.: Correspondence: Henry E. Sigerist-Charles Singer 1920-1956: *Medical History: Supplement* (30)
- BULANDER, Robert E. Jr: ‘The Most Important Problem in the Hospital’: Nursing in the Development of the Intensive Care Unit, 1950-1965: *Social History of Medicine*: 23 (3) 621-638
- CARTER, Neil: The Rise and Fall of the Magic Sponge: Medicine and the Transformation of the Football Trainer: *Social History of Medicine*: 23 (2) 261-279
- CHAKRABARTI, Pratik: “Living versus Dead”: The Pasteurian Paradigm and Imperial Vaccine Research: *Bull. Hist. Med.*: 84 (3) 387-423
- CHAKRABARTI, Pratik: Empire and Alternatives: Swietenia febrifuga and the Cinchona Substitutes: *Medical History*: 54 (1) 75-94
- DALE, Melissa S.: Understanding Emasculation: Western Medical Perspectives on Chinese Eunuchs: *Social History of Medicine*: 23 (1) 38-55
- DALE, P./ FISHER, K.: Contrasting Municipal Responses to the Provision of Birth Control Services in Halifax and Exeter before 1948: *Social History of Medicine*: 23 (3) 567-585
- DAMANT, Margaret: A Biographical Profile of Queen’s Nurses in Britain 1910-1968: *Social History of Medicine*: 23 (3) 586-601
- DEHNER, George: WHO Knows Best? National and International Responses to Pandemic Threats and the “Lessons” of 1976: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (4) 478-513

## 64 歐文文献

- ABEL, Emily K.: The Rise and Fall of Celiac Disease in the United States: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (1) 81-105
- ABRAHAM, J./DAVIS, C.: Discovery and Management of Adverse Drug Reactions: The Nomifensine Hypersensitivity Syndrome, 1977-1986: *Social History of Medicine*: 23 (1) 153-173
- APPEL, Toby A.: The Thomsonian Movement, the

- DOLAN, Brian: History, Medical Humanities and Medical Education: *Social History of Medicine*: 23 (2) 393–405
- DONZE, Pierre-Yves: Studies Abroad by Japanese Doctors: A Prosopographic Analysis of the Nameless Practitioners, 1862–1912: *Social History of Medicine*: 23 (2) 244–260
- DOYLE, Barry: Labor and Hospitals in Urban Yorkshire: Middlesbrough, Leeds and Sheffield, 1919–1938: *Social History of Medicine*: 23 (2) 374–392
- DUDLEY, Anu K.: Moxa in Nineteenth-century Medical Practice: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (2) 187–206
- DYCK, Erika: Spaced-Out in Saskatchewan: Modernism, Anti-Psychiatry, and Deinstitutionalization, 1950–1968: *Bull. Hist. Med.*: 84 (4) 640–666
- EGAN, R. D./HAWKES, G.: Childhood Sexuality, Normalization and the Social Hygiene Movement in the Anglophone West, 1900–1935: *Social History of Medicine*: 23 (1) 56–78
- EIGEN, Joel P.: Diangosing Homicidal Mania: Forensic Psychiatry and the Purposeless Murder: *Medical History*: 54 (4) 433–456
- FESTLE, Mark J.: Enemies or Allies? The Organ Transplant Medical Community, the Federal Government, and the Public in the United States, 1967–2000: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (1) 48–80
- FYE, W. Bruce: The Origins and Evolution of the Mayo Clinic from 1864 to 1939: A Minnesota Family Practice Becomes an International “Medical Mecca”: *Bull. Hist. Med.*: 84 (3) 323–357
- GADELRAH, Sherry S.: Medical Healers in Ottoman Egypt, 1517–1805: *Medical History*: 54 (3) 365–386
- GARTON, Stephen: Criminal Propensities: Psychiatry, Classification and Imprisonment in New York State 1916–1940: *Social History of Medicine*: 23 (1) 79–97
- GOODHEART, Lawrence B.: From Cure to Custodianship of the Insane Poor in Nineteenth-Century Connecticut: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (1) 106–130
- GOSLING, George C.: “Open the Other Eye”: Payment, Civic Duty and Hospital Contributory Schemes in Bristol, c.1927–1948: *Medical History*: 54 (4) 475–494
- GREEN, Alexa: Working Ethics: William Beaumont, Alexis St. Martin, and Medical Research in Antebellum America: *Bull. Hist. Med.*: 84 (2) 193–216
- HASSON, Ezra: Capacity to Marry: Law, Medicine and Conceptions of Insanity: *Social History of Medicine*: 23 (1) 1–20
- HEGGIE, Vanessa: Specialization without the Hospital: The Case of British Sports Medicine: *Medical History*: 54 (4) 457–474
- HEGGIE, Vanessa: A Century of Cardiomythology: Exercise and the Heart c.1880–1980: *Social History of Medicine*: 23 (2) 280–298
- HOBBS, Peter G.: “Outside the Institute there is a Desert”: The Tenuous Trajectories of Medical Research in Interwar Australia: *Medical History*: 54 (1) 1–28
- HODES, Rebecca: Televising Treatment: The Political Struggle for Antiretrovirals on South African Television: *Social History of Medicine*: 23 (3) 639–659
- HONIGSBAUM, Mark: The Great Dread: Cultural and Psychological Impacts and Responses to the ‘Russian’ Influenza in the United Kingdom, 1889–1893: *Social History of Medicine*: 23 (2) 299–319
- HURREN, Elizabeth T.: Remaking the Medico-Legal Scene: A Social History of the Late-Victorian Coroner in Oxford: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (2) 207–252
- JACKSON, Mark: “Divine Stramonium”: The Rise and Fall of Smoking for Ashma: *Medical History*: 54 (2) 171–194
- JOHNSON, Ryan: “An All-white Institution”: Defending Private Practice and the Formation of the West African Medical Staff: *Medical History*: 54 (2) 237–254
- JOHNSON, Ryan: Colonial Mission and Imperial Tropical Medicine: Livingstone College, London, 1893–1914: *Social History of Medicine*: 23 (3) 549–566
- JONES, Edgar: Shell Shock at Maghull and the Maud-

- sley: Models of Psychological Medicine in the UK: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (3) 368–395
- JONES, Greta: “Strike out Boldly for the Prizes that are Available to You”: Medical Emigration from Ireland 1860–1905: *Medical History*: 54 (1) 55–74
- JOOSSE, N. P./ PORMANN, P. E.: Decline and Decadence in Iraq and Syria after the Age of Avicenna? ‘Abd al-Latifal-Baghdadi (1162–1231) between Myth and History: *Bull. Hist. Med.*: 84 (1) 1–29
- KELLY, Laura: “Fascinating Scalpel-wielders and Fair Dissectors”: Women’s Experience of Irish Medical Education, c.1880s–1920s: *Medical History*: 54 (4) 495–516
- KENNAWAY, James: From Sensibility to Pathology: The Origins of the Idea of Nervous Music around 1800: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (3) 396–426
- KENNY, Stephen C.: “A Dictate of Both Interest and Mercy”? Slave Hospitals in the Antebellum South: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (1) 1–47
- KIRBY, Stephanie: Sputum and the Scent of Wallflowers: Nursing in Tuberculosis Sanatoria 1920–1970: *Social History of Medicine*: 23 (3) 602–620
- KRAGH, Jesper V.: Shock Therapy in Danish Psychiatry: *Medical History*: 54 (3) 341–364
- LEI, Sean H.: Habituating Individuality: The Framing of Tuberculosis and Its Material Solutions in Republican China: *Bull. Hist. Med.*: 84 (2) 248–279
- LI, Shang-Jen: Discovering ‘The Secrets of Long and Healthy Life’: John Dudgeon on Chinese Hygiene: *Social History of Medicine*: 23 (1) 21–37
- LINTON, Derek S.: “War Dysentery” and the Limitations of German Military Hygiene during World War I: *Bull. Hist. Med.*: 84 (4) 607–639
- LOAR, Carol: Medical Knowledge and the Early Modern English Coroner’s Inquest: *Social History of Medicine*: 23 (3) 475–491
- MAWDSLEY, Stephen E.: “Dancing on Eggs”: Charles H. Bynum, Racial Politics, and the National Foundation for Infantile Paralysis, 1938–1954: *Bull. Hist. Med.*: 84 (2) 217–247
- MELLING, Joseph: Beyond a Shadow of a Doubt? Experts, Lay Knowledge, and the Role of Radiography in the Diagnosis of Silicosis in Britain, c.1919–1945: *Bull. Hist. Med.*: 84 (3) 424–466
- MILLAN, Cristina A.: The Case History in Medieval Islamic Medical Literature: *Tajarib and Mujarrabat as Source: Medical History*: 54 (2) 195–214
- MILLER, Ian: The Mind and Stomach at War: Stress and Abdominal Illness in Britain c.1939–1945: *Medical History*: 54 (1) 95–110
- MOSCUCCI, Ornella: The British Fight against Cancer: Publicity and Education, 1900–1948: *Social History of Medicine*: 23 (2) 356–373
- Mazda, T./ Schmidt, P. J.: From bloodletting to apheresis in Japan.: *Transfusion and Apheresis Science.*: 42, 27–31
- Michel, Wolfgang: Der Ost-Indischen und angrenzenden Königreiche vornehmste Seltenheiten betreffende kurze Erläuterung: Neue Funde zum Leben und Werk des Leipziger Chirurgen und Handelsmanns Caspar Schamberger (1623–1706) : Hana-Shoin
- NEHER, Allister: The Truth about Our Bones: William Cheselden’s *Osteographia*: *Medical History*: 54 (4) 517–528
- NENADIC, Stana: Writing Medical Lives, Creating Posthumous Reputations: Dr Matthew Baillie and his Family in the Nineteenth Century: *Social History of Medicine*: 23 (3) 509–527
- NEWTON, Hannah: Children’s Physic: Medical Perceptions and Treatment of Sick Children in Early Modern England, c.1580–1720: *Social History of Medicine*: 23 (3) 456–474
- PALMER, Steven: Toward Responsibility in International Health: Death Following Treatment in Rockefeller Hookworm Campaigns, 1914–1934: *Medical History*: 54 (2) 149–170
- PEETERS, Evert: Questioning the Medical Fringe: The “Cultural Doxy” of Catholic Hydropathy in Belgium, 1890–1914: *Bull. Hist. Med.*: 84 (1) 92–119
- PODOLSKY, Scott H.: Antibiotics and the Social History of the Controlled Clinical Trial, 1950–1970: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (3) 327–367



- POOLEY, Sian: 'All we parents want is that our children's health and lives should be regarded': Child Health and Parental Concern in England, c.1860–1910: *Social History of Medicine*: 23 (3) 528–548
- RAZ, Mical: Psychosurgery, Industry and Personal Responsibility, 1940–1965: *Social History of Medicine*: 23 (1) 116–133
- RENZI, Silvia D: The Risks of Childbirth: Physicians, Finance, and Women's Deaths in the Law Courts of Seventeenth-Century Rome: *Bull. Hist. Med.*: 84 (4) 549–577
- RIEDER, P./ LOUIS-COURVOISIER, M.: Enlightened Physicians: Setting Out on an Elite Academic Career in the Second Half of the Eighteenth Century: *Bull. Hist. Med.*: 84 (4) 578–606
- RIEDER, Philip: Miracles and Heretics: Protestants and Catholic Healing Practices in and around Geneva 1530–1750: *Social History of Medicine*: 23 (2) 227–243
- RILEY, James C.: Smallpox and American Indians Revisited: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (4) 445–477
- RUBERG, Willemijn: The Letter as Medicine: Studying Health and Illness in Dutch Daily Correspondence, 1770–1850: *Social History of Medicine*: 23 (3) 492–508
- SELLERS, Christopher C.: Cross-nationalizing the History of Industrial Hazard: *Medical History*: 54 (3) 315–340
- SKYDSGAARD, Morten: It's probably in the Air: Medical Meteorology in Denmark, 1810–1875: *Medical History*: 54 (2) 215–236
- STEERE-WILLIAMS, Jacob: The Perfect Food and the Filth Disease: Milk-borne Typhoid and Epidemiological Practice in Late Victorian Britain: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (4) 514–545
- SUMMERS, Martin: "Suitable Care of the African When Afflicted With Insanity": Race, Madness, and Social Order in Comparative Perspective: *Bull. Hist. Med.*: 84 (1) 58–91
- THALASSIS, Nafsika: Useless Soldiers: The Dilemma of Discharging Mentally Unfit Soldiers during the Second World War: *Social History of Medicine*: 23 (1) 98–115
- VERHAVE, Jan P.: Clifford Dobell and the Making of Paul de Kruif's Microbe Hunters: *Medical History*: 54 (4) 529–536
- WEAVER, Lawrence T.: In the Balance: Weighing Babies and the Birth of the Infant Welfare Clinic: *Bull. Hist. Med.*: 84 (1) 30–57
- WEAVER, Lawrence T.: 'Growing Babies': Defining the Milk Requirements of Infants 1890–1910: *Social History of Medicine*: 23 (2) 320–337
- WEISZ, G./ OLSZYNKO-GRYN, J.: The Theory of Epidemiologic Transition: The Origins of a Citation Classic: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (3) 287–326
- WILLIAMS, Elizabeth A.: Stomach and Psyche: Eating, Digestion, and Mental Illness in the Medicine of Philippe Pinel: *Bull. Hist. Med.*: 84 (3) 358–386
- WOODS, A./ MATTHEWS, S.: "Little, if at all, Removed from the Illiterate Farrier or Cow-leech": The English Veterinary Surgeon, c.1860–1885, and the Campaign for Veterinary Reform: *Medical History*: 54 (1) 29–54
- WRIGHT, D./MULLALLY, S./CORDUKES, M.C.: "Worse than Being Married": The Exodus of British Doctors from the National Health Service to Canada, c.1955–75: *Hist. Med. Allied Sci.*: 65 (4) 546–575
- YANG, Bing: The Zhang on Chinese Southern Frontiers: Disease Constructions, Environmental Changes, and Imperial Colonization: *Bull. Hist. Med.*: 84 (2) 163–192
- ZACCARINI, M. Cristina: Modern Medicine in Twentieth-Century Jiangxi, Anhui, Fujian and Sichuan: Competition, Negotiation and Cooperation : *Social History of Medicine*: 23 (2) 338–355
- ZANDBERG, Adrian: "Villages ... Reek of Ether Vapours": Ether Drinking in Silesia before 1939: *Medical History*: 54 (3) 387–396